

公表データを活用した医療提供体制の分析（圏域別）

2022年9月

株式会社日本経営

新居浜・西条圏域の特徴

新居浜・西条医療圏の概要（サマリー）

需要	人口動態	<ul style="list-style-type: none"> 人口総数は今後減少見込み。75歳以上人口については、2030年をピークに減少見込み。
	需要推計 (入院全体)	<ul style="list-style-type: none"> 回復期や慢性期を含めた全体の入院需要は2030年まで増加の見込み。 急性期（DPC）の入院需要についても同様に2030年まで増加の見込み。
	需要推計 (5疾病)	<p><悪性新生物> 入院需要（入院全体）のピークは2025年、手術需要のピークは2020年となる見込み。</p> <p><脳卒中> 1日当たり患者数（入院全体）および手術数は2030年がピークとなる見込み。1日当たり患者数（DPC）は横ばいとなり、回復期を中心とした需要の増加を予想する。</p> <p><心血管疾患> 1日当たり患者数（入院全体）は2030年、手術件数は2025年がピークとなる見込み。1日当たり患者数（DPC）はほぼ横ばいとなる見込み。</p> <p><糖尿病> 1日当たり入院患者数は2030年をピークに減少見込み。1日当たり患者数（DPC）は横ばい。1日当たり外来患者数は2025年がピーク。</p> <p><精神疾患> 1日当たり入院患者数、1日当たり外来患者数ともにすでにピークアウト。</p>
	需要推計 (小児周産期)	<ul style="list-style-type: none"> 今後の出生数や小児（15歳未満）患者数は減少見込み。

POINT：需要と供給のバランスが取れているか

- ✓ 今後の需要は2030年ころまで増加するが、現状において癌手術や脳卒中などの一部急性期症例は流出している可能性がある。
- ✓ **機能面、疾患領域面で役割分担を図っていくことで、今後生産年齢人口の減少により限られてくる医療資源を効率的に配置できるとともに、各領域の対応体制の強化にもつながることが考えられるため、今後検討が必要であると想定される。**

供給	機能別病床数	<ul style="list-style-type: none"> 必要病床数と比較すると、高度急性期・回復期・慢性期が不足傾向、急性期が充足傾向。 DPC症例の流出は県内では少ないが、高度急性期や急性期のあり方については議論が必要。
	供給体制 (5疾病)	<p><悪性新生物> DPC退院患者調査結果から確認出来る手術数が少なく、手術症例が流出している可能性がある。</p> <p><脳卒中> 手術を要する症例が確認出来る医療機関は、県立新居浜病院であり圏域外に流出している可能性がある。</p> <p><心血管疾患> 症例数は住友別子病院が最多。手術を要する症例は5病院に分散している。</p> <p><糖尿病> 新居浜・西条医療圏および宇摩圏域等の広域にて住友別子病院による対応がされている。</p>
	救急医療	<ul style="list-style-type: none"> 住友別子病院が最多となり、他に1000台以上の搬送受入がある病院が4病院あり、複数病院に分散。
	急性期症例	<ul style="list-style-type: none"> 住友別子病院が最多。MDC14（新生児）、MDC15（小児）が愛媛県立新居浜病院に集約されているが、その他は複数病院に分散している。医師の働き方改革等につき、現状の役割分担のまま対応が行えるか確認が必要。

需要の概観 | 人口動態と医療需要

- 当該医療圏の人口構造の見通しでは、総人口は減少するものの、2030年にかけて75歳以上人口は増加が予想されている（図1）。
- 当該医療圏の高齢者人口の増加による需要増加が予想されており、入院医療、入院医療（DPC）、介護需要のピークは全て2030年になる見込み。伸び率では、介護需要、入院需要、入院需要（DPC）の順で高い（図2）。

図1：人口構造の見通し

(単位：千人)

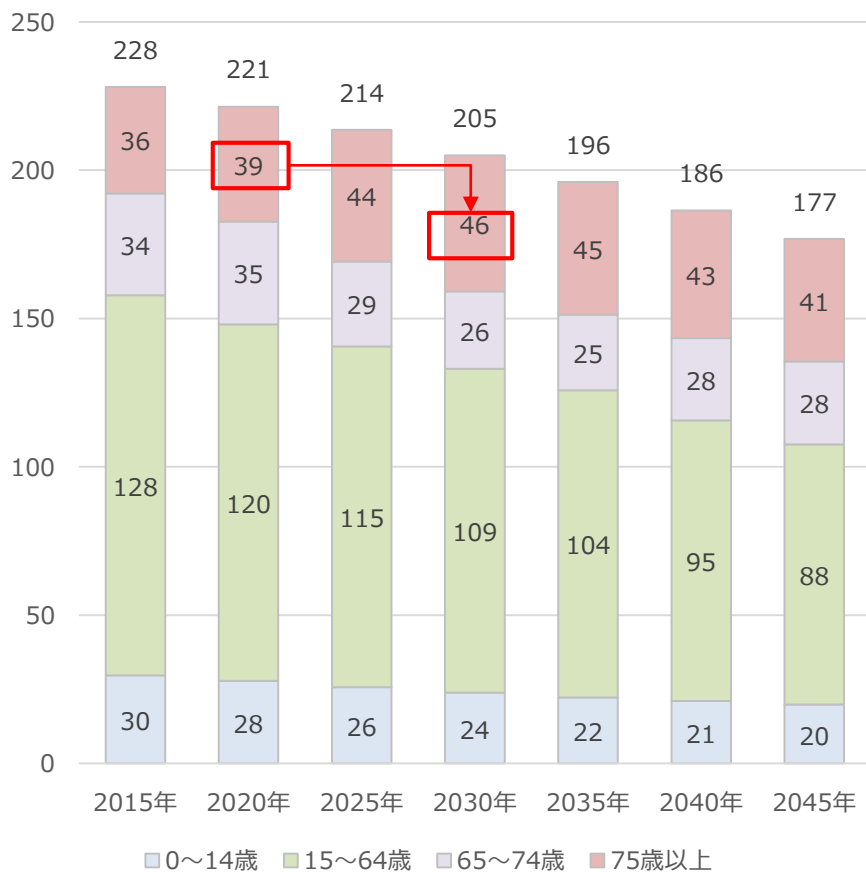
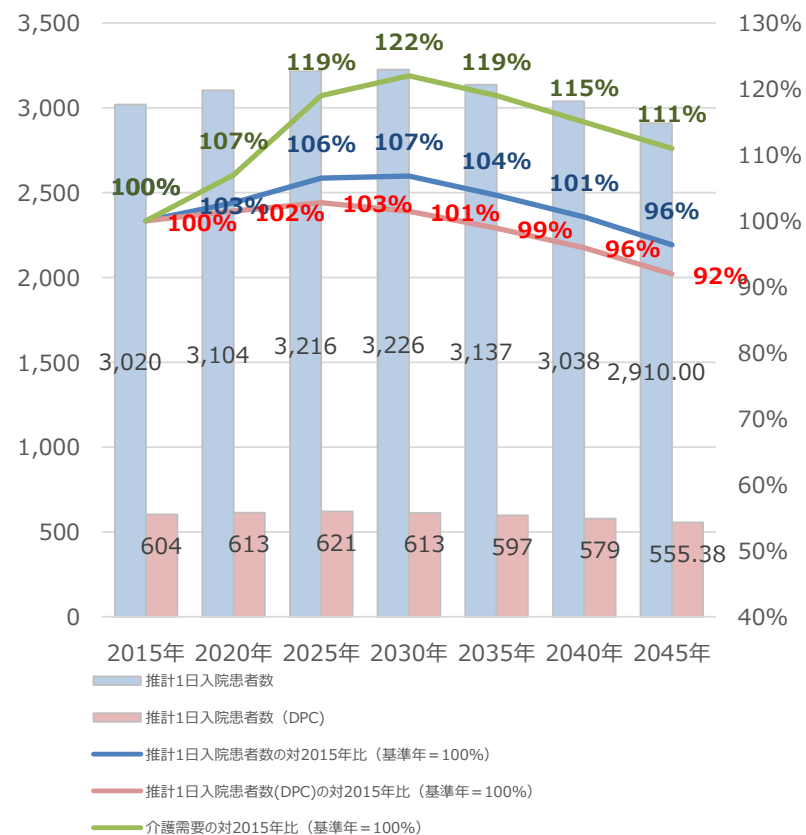


図2：入院医療需要の推計

(単位：人/日)



引用：国立社会保障人口問題研究所 都道府県別推計人口
厚生労働省「患者調査」「DPC退院患者調査」
日本医師会「地域医療情報システム」より作成

供給体制の概観 | 機能と病床数の特徴

- 新居浜・西条医療圏では、住友別子病院の規模が最も大きく、規模では次いで十全総合病院、西条中央病院と続く。
- 一方で病床機能報告における届出病床の機能別病床数の特徴では、住友別子病院のほか県立新居浜病院や愛媛労災病院、済生会西条病院等が急性期に重心を置いた病棟構成となっている。

ポジショニングマップ

38_愛媛県_3802_新居浜・西条_すべて



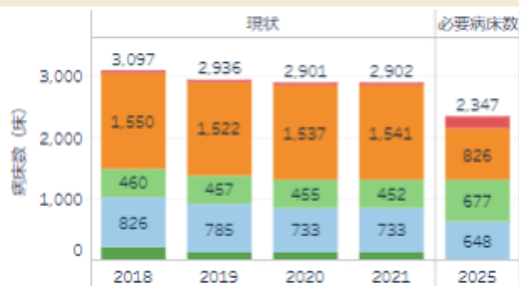
供給体制の概観 | 機能別必要病床数とその特徴①

- 2025年の必要病床数との比較では、総病床数の差は555床となる。内訳では、高度急性期および回復期機能の病床が大幅に不足しており、その他の病床は機能の見直しが必要となっている。
- 急性期病床について、より濃淡をつけた機能分化により、高度急性期と回復期への機能転換の必要性がうかがえる。

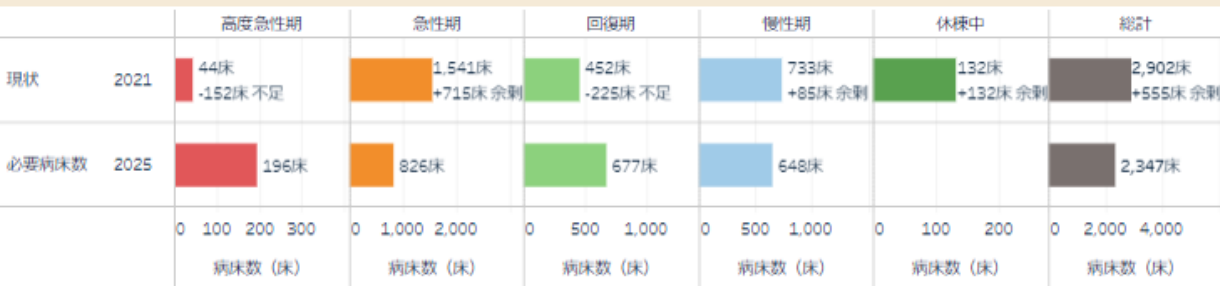
地域医療構想の状況（入院料別）

38_愛媛県_3802_新居浜・西条

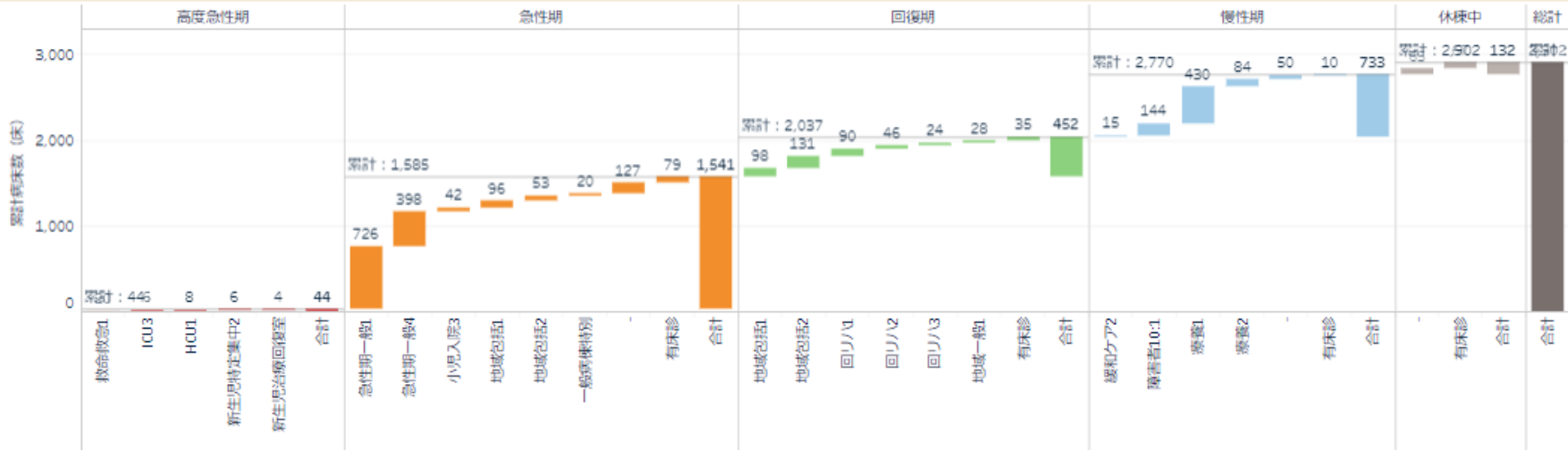
病床数の推移



地域医療構想における必要病床数と現状（2021年度）の比較



入院料別病床数の分布



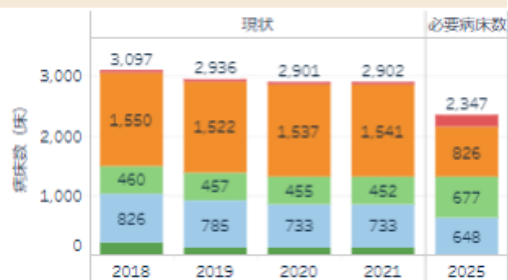
供給体制の概観 | 機能別必要病床数とその特徴②

- 急性期機能を持つ病院の数が多く、自院の急性期病棟により患者を受け入れ、自院内の回復期病棟等への転棟という自施設完結型の医療提供体制が進んでいる傾向にある。
- 病院により機能の分担を行うか、互いにケアミックス型として役割分担を行うかなど、地域の実情にあわせた議論が今後必要になる。

地域医療構想の状況（医療機関別）

38_愛媛県_3802_新居浜・西条

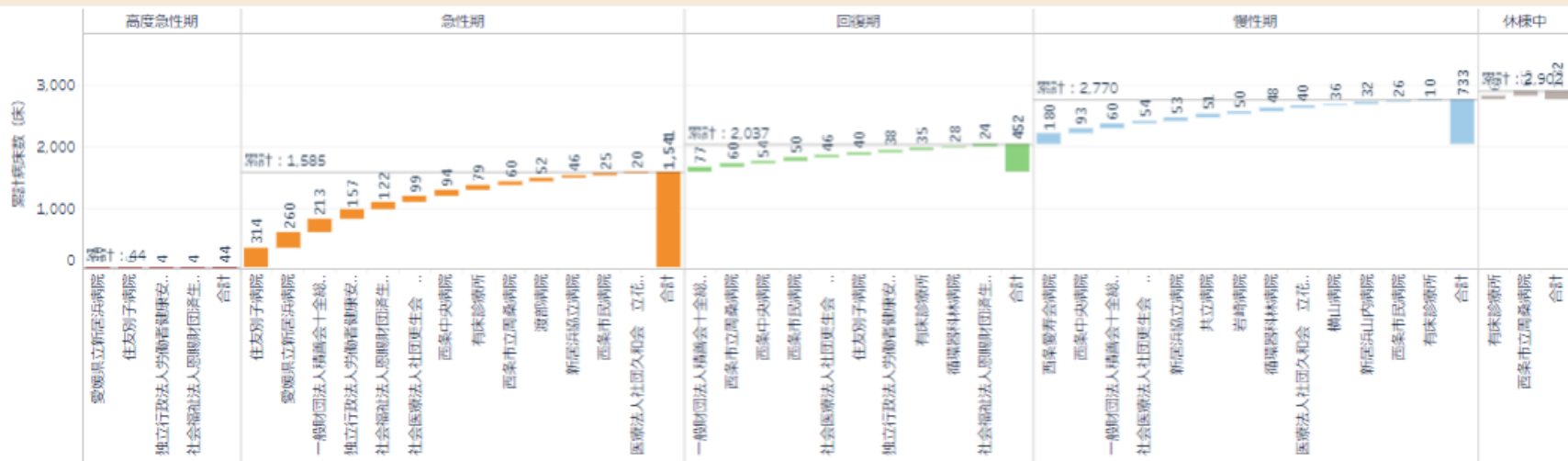
病床数の推移



地域医療構想における必要病床数と現状（2021年度）の比較



医療機関別病床数の分布



供給体制の概観 | 機能別必要病床数とその特徴③

- 届出機能別の推計平均在院日数では、新居浜・西条圏域において高度急性期、急性期、回復期の日数は短い。
- 一方で、慢性期病床は日数が長く、介護サービスや在宅療養サービスとの連携状態について確認が望ましい。

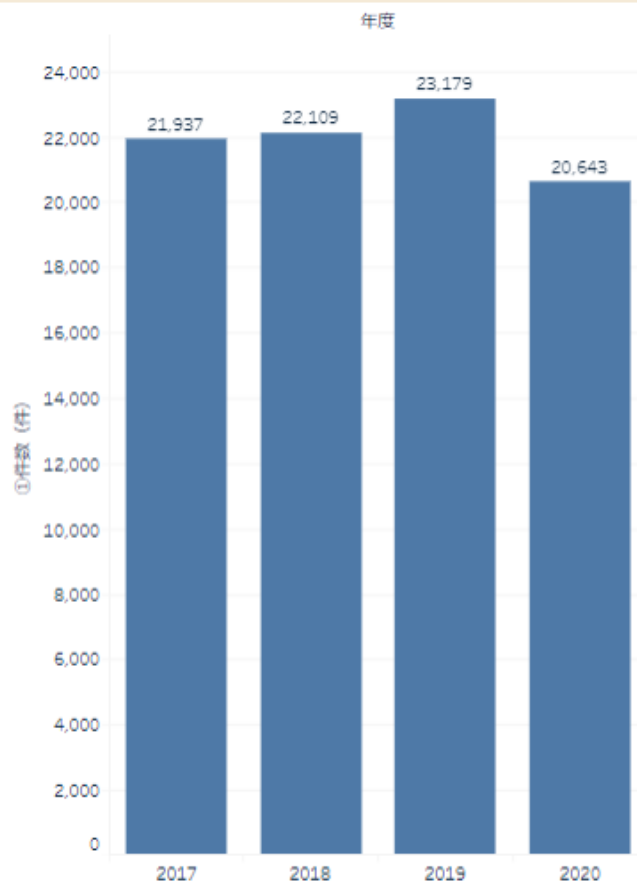
	医療圏						総計
	宇摩	宇和島	今治	松山	新居浜・西条	八幡浜・大洲	
高度急性期	7.3	4.6	3.2	9.2	3.8		8.2
急性期	12.5	14.2	14.0	15.4	10.7	16.2	13.9
回復期	41.3	32.6	63.9	44.1	24.7	31.8	38.5
慢性期	284.4	148.5	130.1	164.7	211.5	102.1	158.9
その他(休棟..)							
総計	20.9	21.4	20.4	23.4	17.5	24.6	21.6

5疾病における症例・手術・患者数等の状況

DCP症例数 | 医療圏の症例数推移

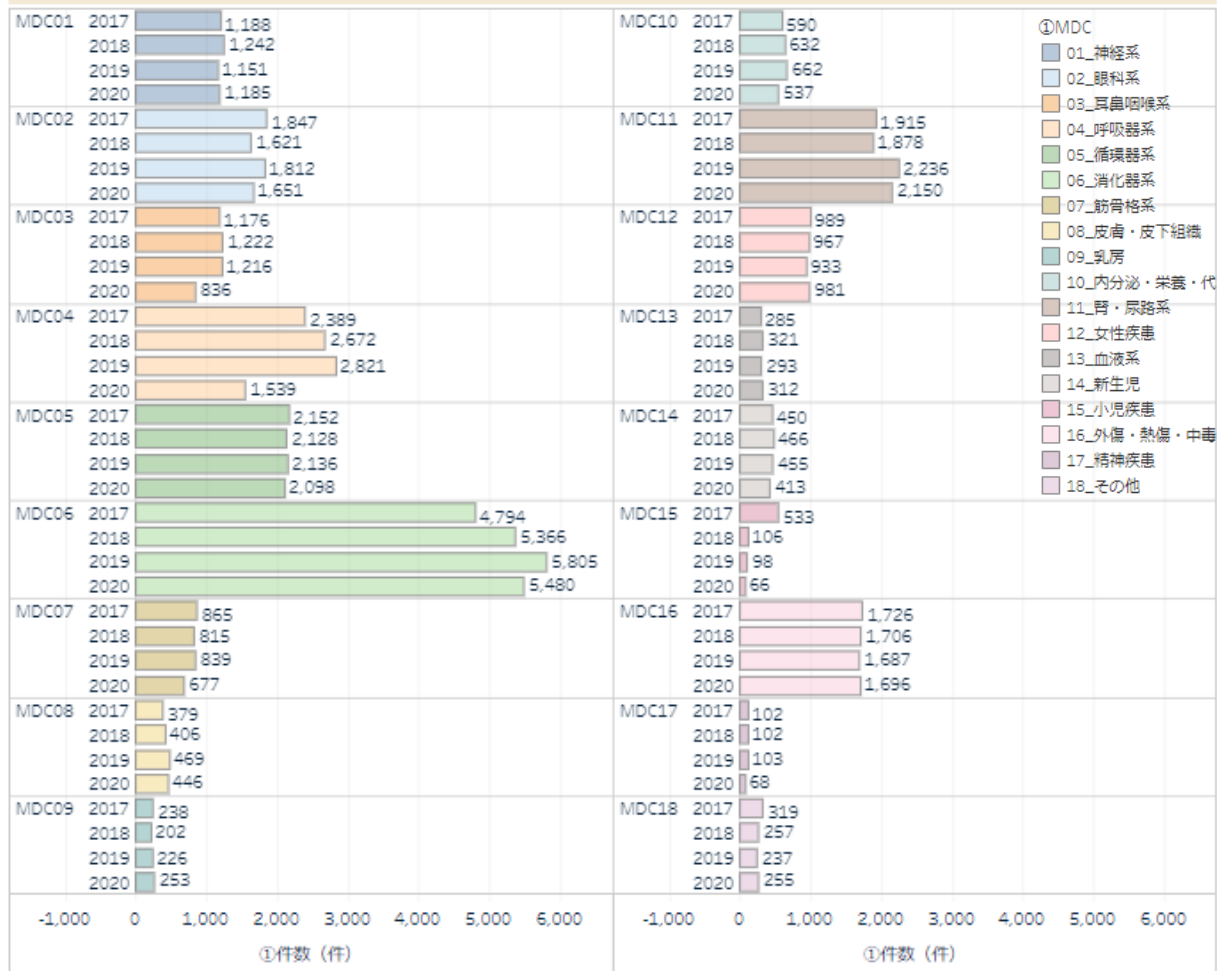
- 新居浜・西条圏域のDCP症例数は2016年から2019年にかけて増加をしている。予測では2030年が急性期の需要ピークとなる。
- 2019年度までは、MDC別では、MDC04（呼吸器）、MDC06（消化器）の症例数が増加しているが、MDC01（神経系）やMDC05（循環器系）の症例は横ばいもしくは減少である。なお、2020年度は新型コロナの影響と思われるが、症例数が減少している。

退院患者数の推移



※「年度」をクリックすると、右のグラフに対して「年度」の絞り込みができます。
 (例)「2018」をクリックすると、右のグラフには2018年度の値のみが表示されます。

MDC別退院患者数 (すべて)



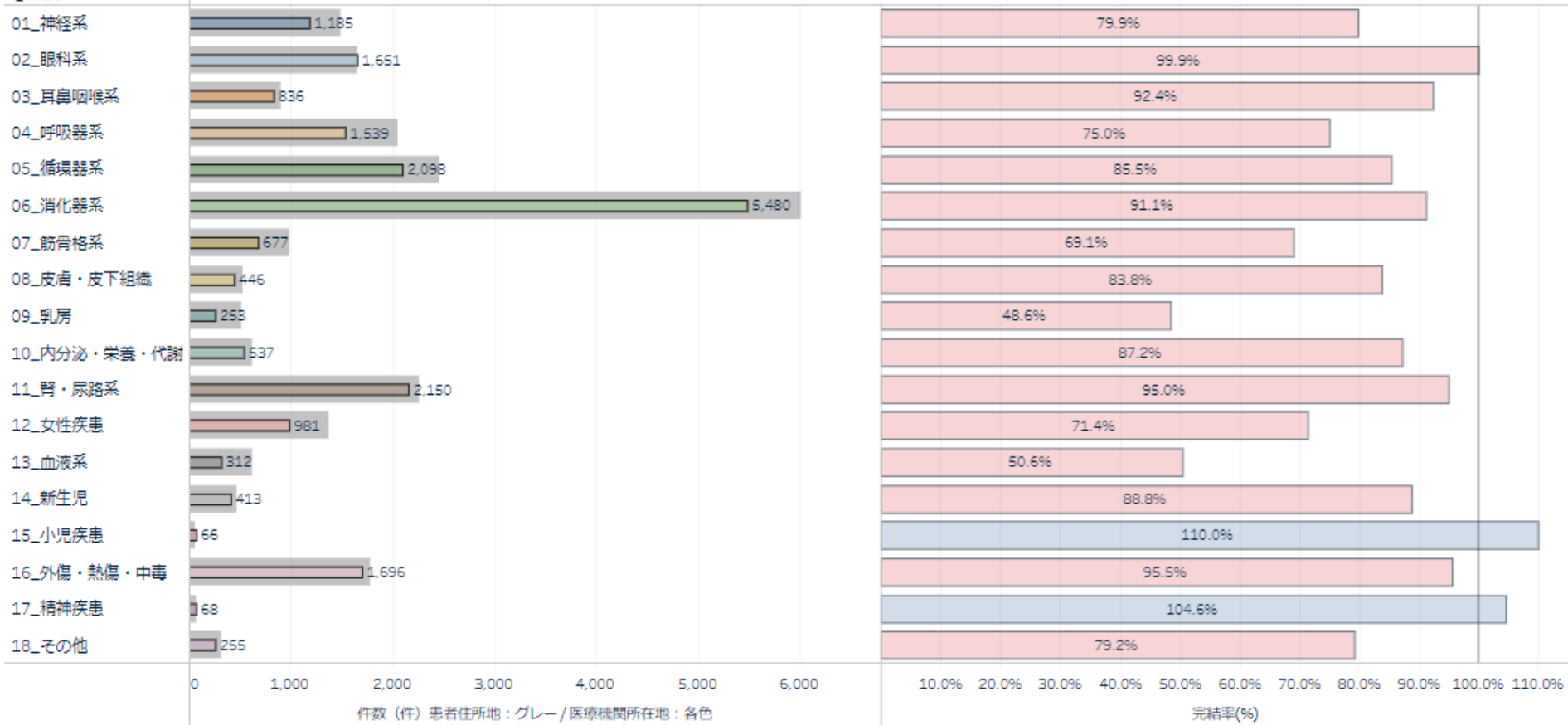
5疾病における症例・手術・患者数等の状況

DCP症例数 | 医療圏の地域完結率 MDC別

- MDC別の地域完結率では、いずれのMDCにおいても完結率は低い。
- 01神経系・05循環器系など、緊急性が高いMDC症例の完結率をいかに高められるか、地域内で完結すべき領域と広域連携にて対応する領域をどのように選別するかなど、各病院が役割の強化が行えるよう協議をする必要がある。

MDC別流出入_愛媛県_新居浜・西条（2020年度）

①MDC



5疾病における症例・手術・患者数等の状況

DCP症例数 | 医療圏の地域完結率

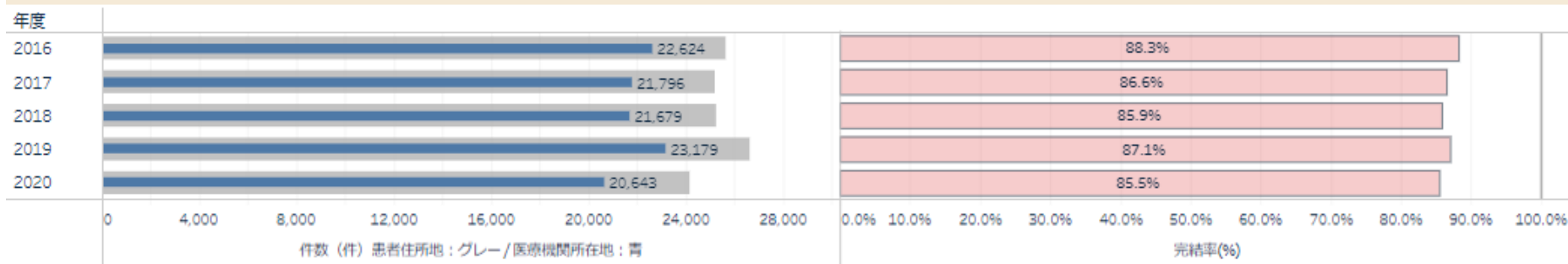
- 新居浜・西条圏域の推計地域完結率は愛媛県内では高い方だが、完結率は100%を下回る。
- 2016年以降2020年度の推移では、2019年度を除き完結率は前年度をわずかに下回り続けている。
- 次頁にてMDC別の推移を記載するが、将来的に地域においてより強化すべき領域、広域連携により対応する領域等、地域の実情に合わせた機能の強化を検討する必要がある。

流出入（医療圏別）_2020年度



「医療圏」をクリックすると、下のグラフに対して「医療圏」の絞り込みをすることができます。

流出入（年度推移）_愛媛県_新居浜・西条



5疾病における症例・手術・患者数等の状況

MDC別医療機関別の症例数

- MDC症例数全件では住友別子病院が最多となる。
- 十全総合病院から愛媛労災病院までの4病院では、DPC症例数がほぼ同数となっている。また、MDC別の症例数比率では、MDC14（新生児）、MDC15（小児）が愛媛県立新居浜病院に集約されているが、その他は複数病院に分散している。
- 地域で役割分担を行う領域と機能と医師を集約すべき領域について検討を行い、地域完結率の向上が行えるよう協議を行う必要がある。

図1：MDC別症例件数

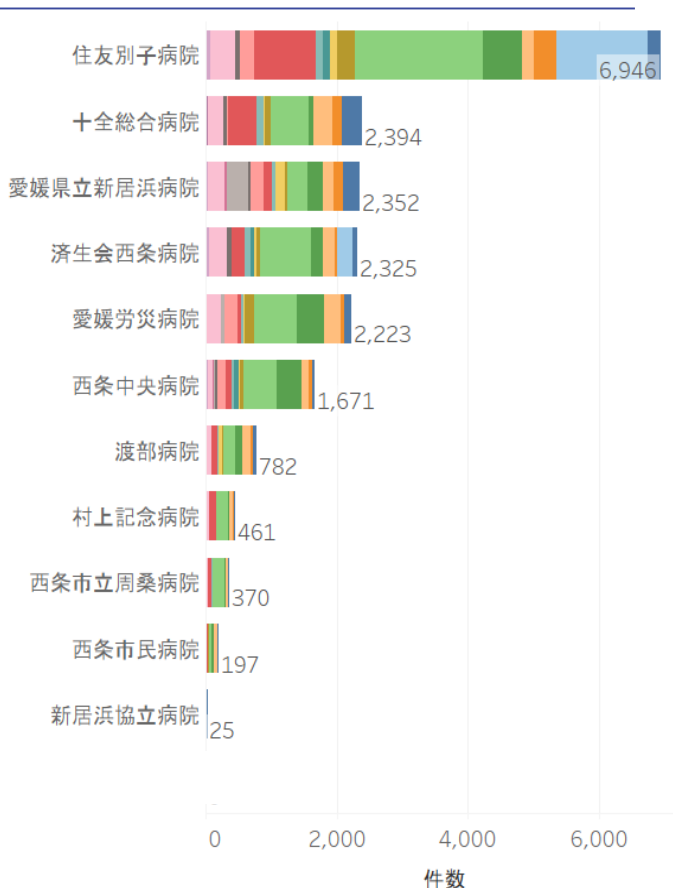
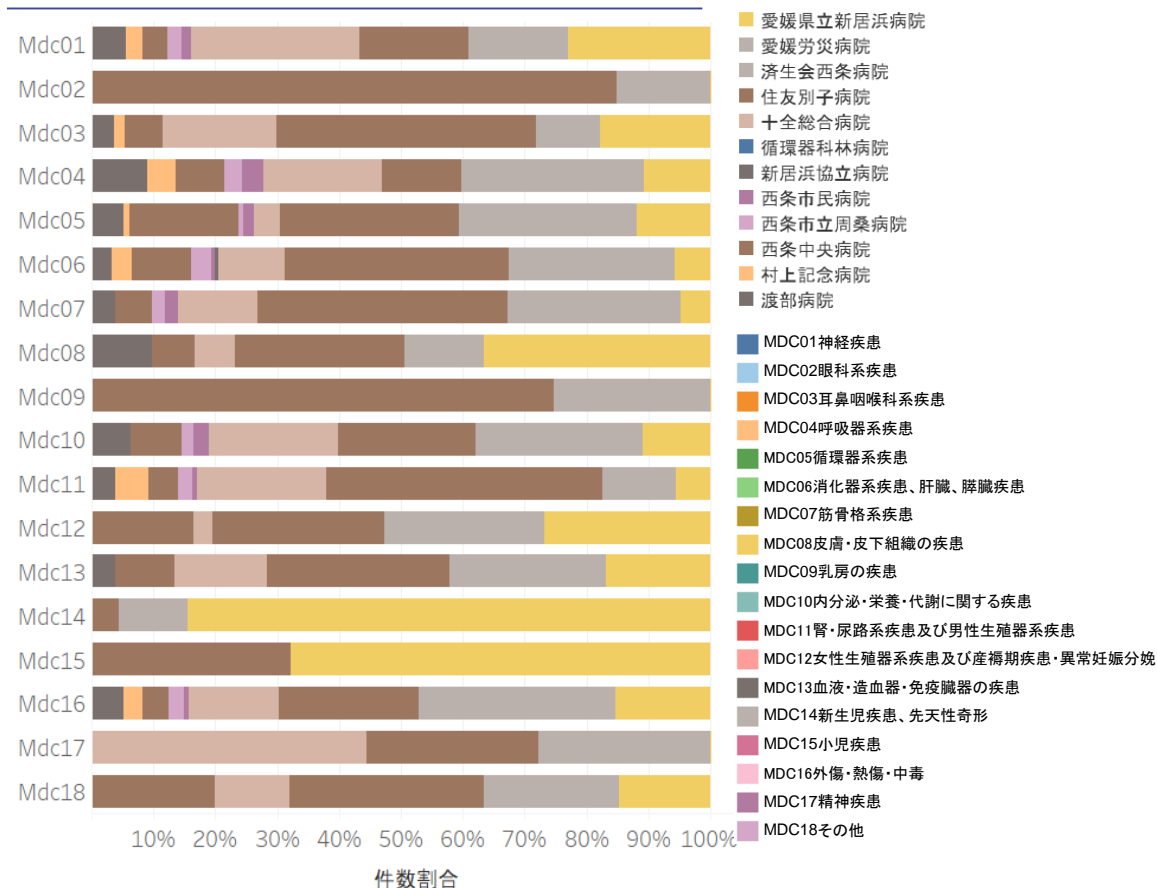


図2：MDC別症例件数の割合



- 愛媛県立新居浜病院
- 愛媛労災病院
- 済生会西条病院
- 住友別子病院
- 十全総合病院
- 循環器科林病院
- 新居浜協立病院
- 西条市民病院
- 西条市立周桑病院
- 西条中央病院
- 村上記念病院
- 渡部病院
- MDC01神経疾患
- MDC02眼科系疾患
- MDC03耳鼻咽喉科系疾患
- MDC04呼吸器系疾患
- MDC05循環器系疾患
- MDC06消化器系疾患、肝臓、膵臓疾患
- MDC07筋骨格系疾患
- MDC08皮膚・皮下組織の疾患
- MDC09乳房の疾患
- MDC10内分泌・栄養・代謝に関する疾患
- MDC11腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患
- MDC12女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
- MDC13血液・造血器・免疫臓器の疾患
- MDC14新生児疾患、先天性奇形
- MDC15小児疾患
- MDC16外傷・熱傷・中毒
- MDC17精神疾患
- MDC18その他

5疾病における症例・手術・患者数等の状況

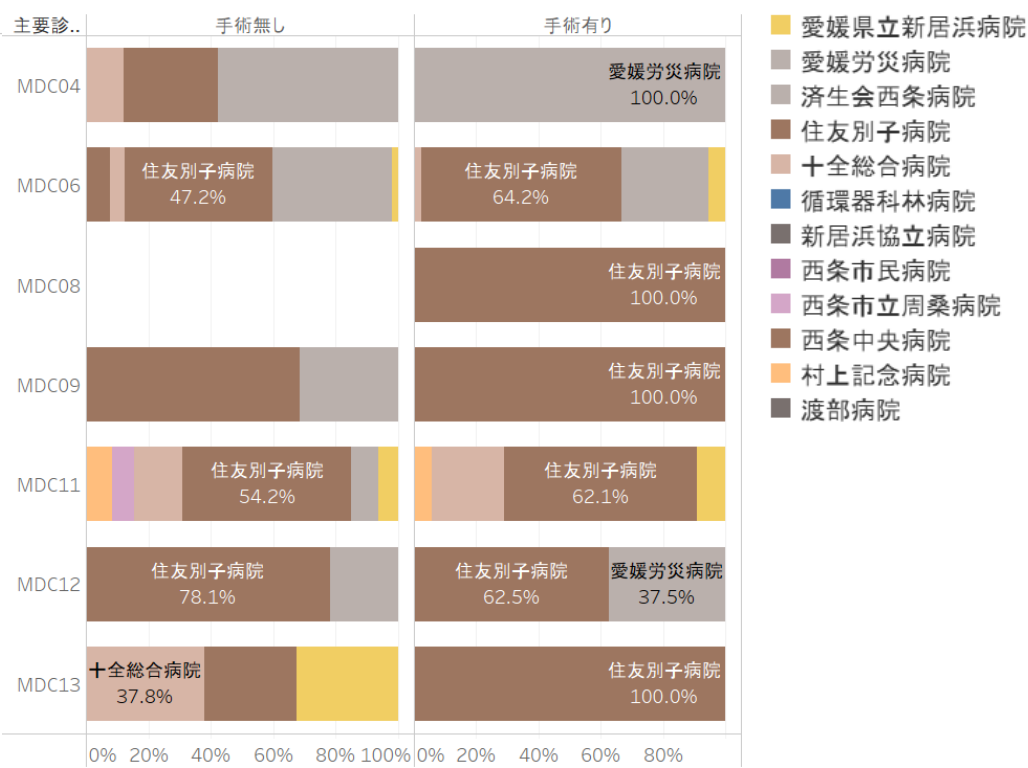
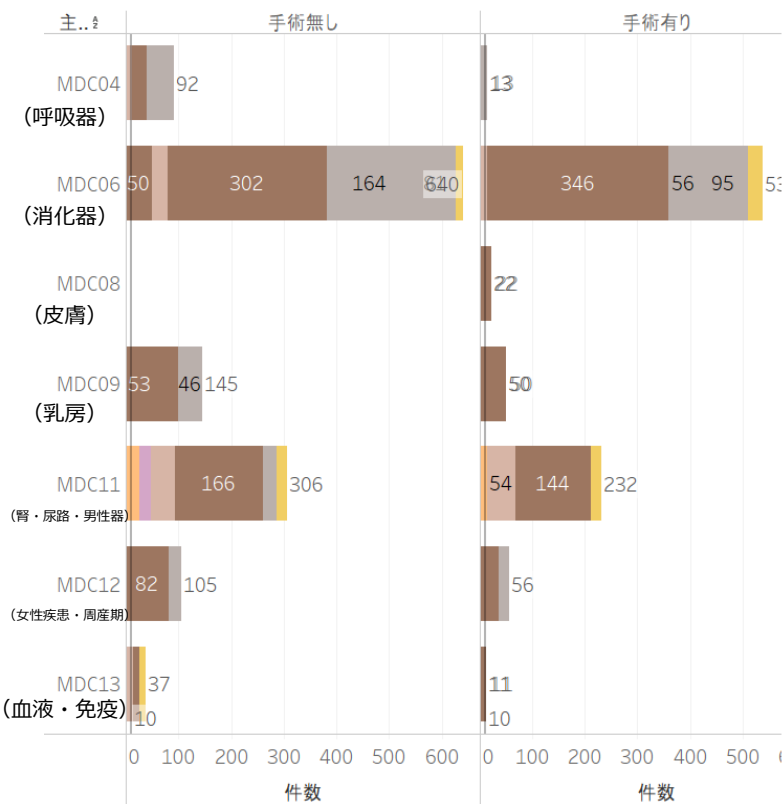
悪性新生物 MDC別・手術有無別・医療機関別の症例数

(DPC傷病名に腫瘍の文字を含む症例数のみ抜粋)

- MDC別の手術有り症例数ではMDC06（消化器）が最多となり、次いで11（腎・尿路および男性器）となる。
- 新居浜西条圏域では悪性新生物に対応している医療機関が住友別子病院、愛媛労災病院、県立新居浜病院、十全総合病院にほぼ限定されており、またそのMDC（診療科）も限られている。
- 悪性新生物の患者が地域外へ流出していることが考えられ、急性期対応から緩和ケア、在宅医療まで、悪性新生物に対する地域の取り組みについて強化が必要なことがうかがえる。

図1：MDC別手術有無別件数（腫瘍・白血病）

図2：MDC別手術有無別割合（腫瘍・白血病）



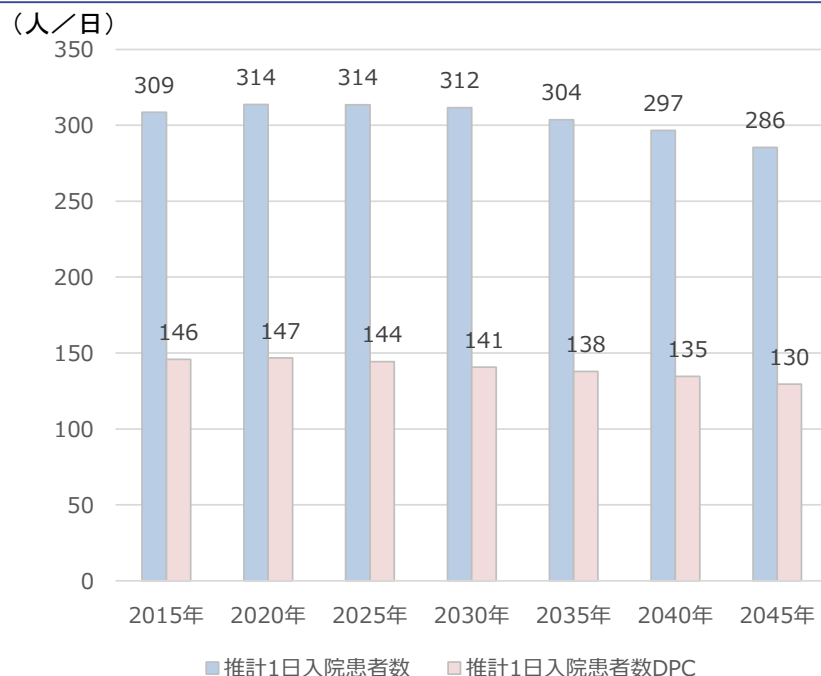
5疾病における症例・手術・患者数等の状況

悪性新生物 推計患者数・推計手術数の推移

新生物における需要予測では、入院需要のピークは2025年、手術需要のピークは2020年となる見通し。

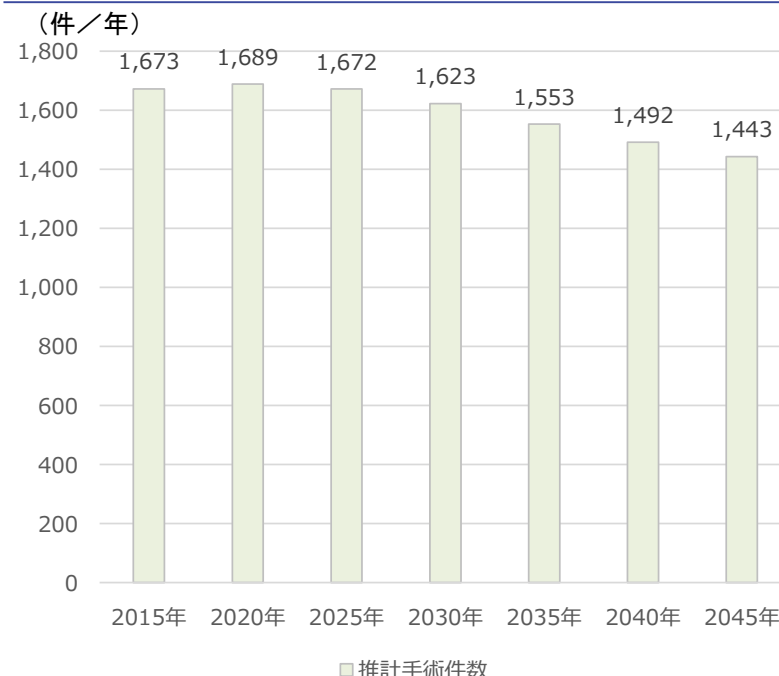
- 若い年齢の受療率が高い疾患については、早期にピークを迎える傾向にある。そのため一般的には需要のピークは推計手術件数、推計入院患者数（DPC）、推計1日入院患者数の順に到達する。
- なお、現在も多くの流出が生じていることが予想でき、今後の対応について地域で検討を要する。
- 急性期（DPC）需要が減少した後も入院需要は一定数を維持する期間があり、この差を緩和ケアや在宅医療にて対応する期間として想定すると、緩和ケア病棟や在宅医療への取り組みが非常に重要となる。

図1：推計1日平均入院患者数の推移



（備考）
推計1日患者数はICD分類「Ⅱ.新生物（腫瘍）」の愛媛県受療率より推計。推計1日入院患者数DPCは傷病名に「腫瘍」「白血病」を含むものに絞り1日患者数を推計。患者数推計は、DPC退院患者調査より全国のDPC請求病床への入院症例発生率を年齢階級別に求め、当発生率を当該地域の推計人口、DPC別平均入院日数をかけた後に365日で除して求めた。

図2：推計手術数の推移



（備考）
手術名称に「腫瘍」「癌」「郭清」を含めるものに絞り手術数を推計
手術の発生率は性別・年齢5歳階級別の全国の発生率を計算し、当該地域の推計人口に掛け合わせることで算出した。

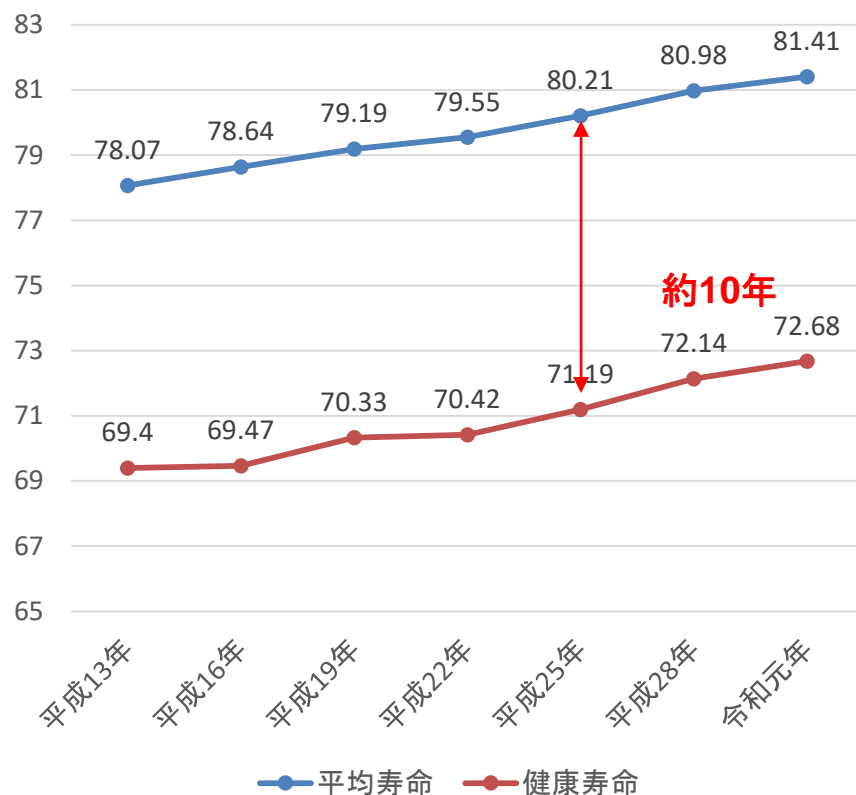
引用：厚生労働省、患者調査（H29）における受療率および第4回NDBオープンデータ、DPC退院患者調査を元に推計／国立社会保障人口問題研究所 将来推計人口 ※推計値
における小数点以下は四捨五入をしている

5疾病における症例・手術・患者数等の状況

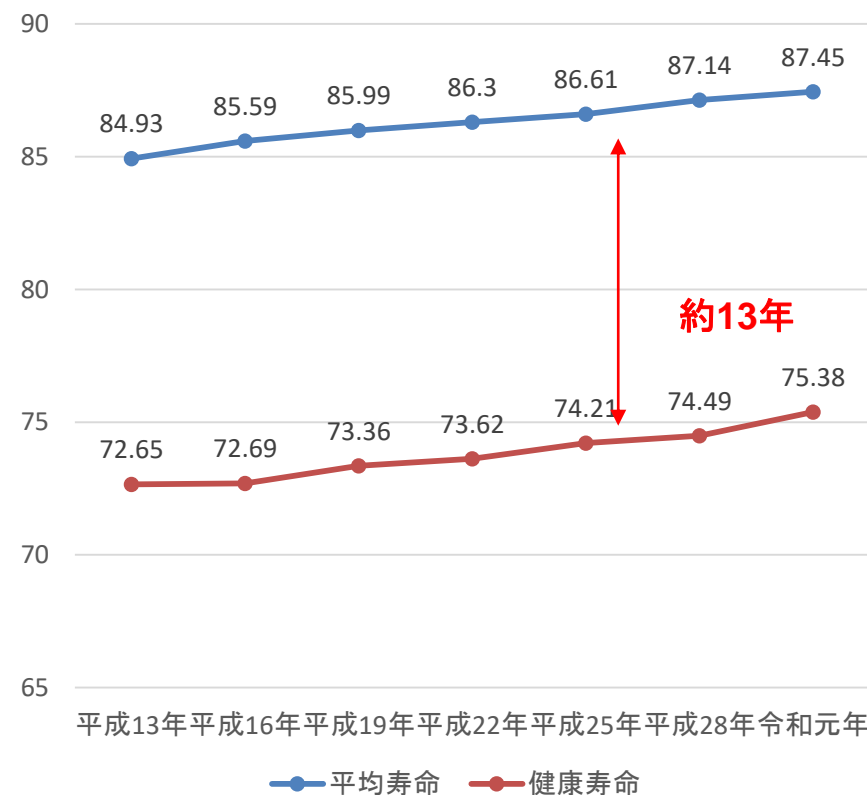
悪性新生物 参考

- 男性、女性共に平均寿命と健康寿命は延びている。
- 平均寿命と健康寿命の乖離は、男性で約10年、女性で約13年となり、多くの国民は10年近く慢性疾患等を抱えながら療養していることになる。
- なお、5大死因はがん、心疾患、脳卒中、肺炎、老衰であり、これらに関連する対応が必要。
- この10年間に在宅医療によって、いかに支えられるかが重要なテーマになる。

健康寿命と平均寿命の推移(男性)



健康寿命と平均寿命の推移(女性)



5疾病における症例・手術・患者数等の状況

神経系疾患 MDC別・手術有無別・医療機関別の症例数

- MDC01（神経系）では県立新居浜病院が最多となる。また、DPC退院患者調査にて手術症例が確認出来る病院は県立新居浜病院のみとなる。隣接する宇摩圏域や松山圏域等に流出しているものと思われる。
- 次頁の需要予測では、急性期需要はほぼ一定水準を保ち、回復期等（入院需要と急性期入院需要との差）は大きく増加することが予想され、将来の需要に対応するためのあり方についての検討が必要である。

図 1 : MDC別手術有無別件数

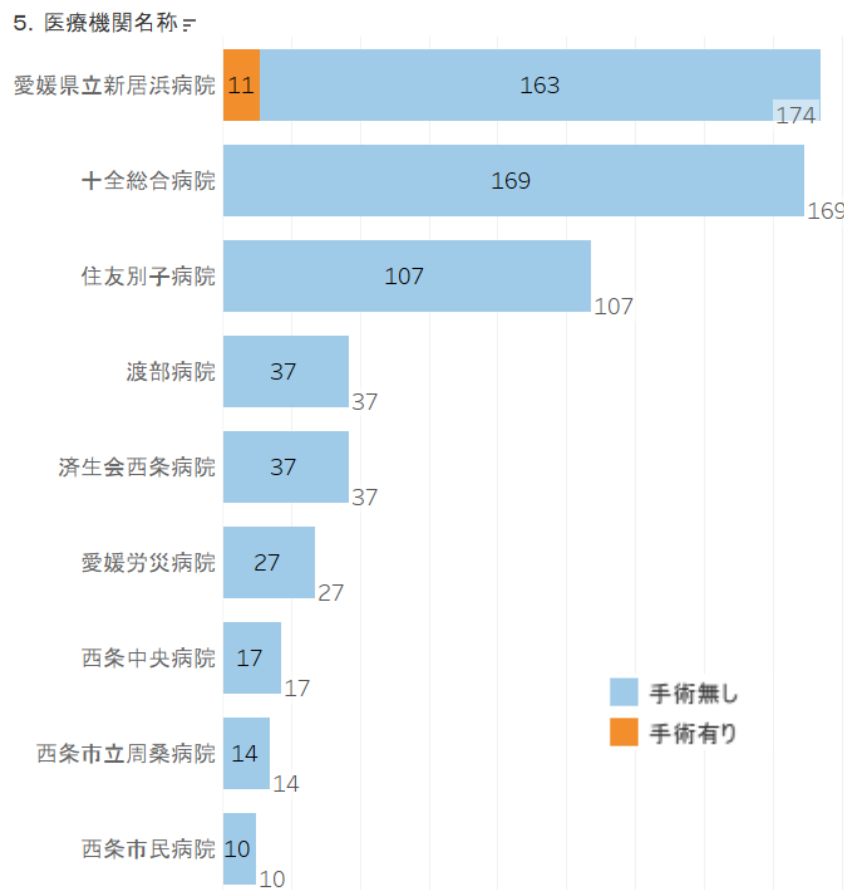
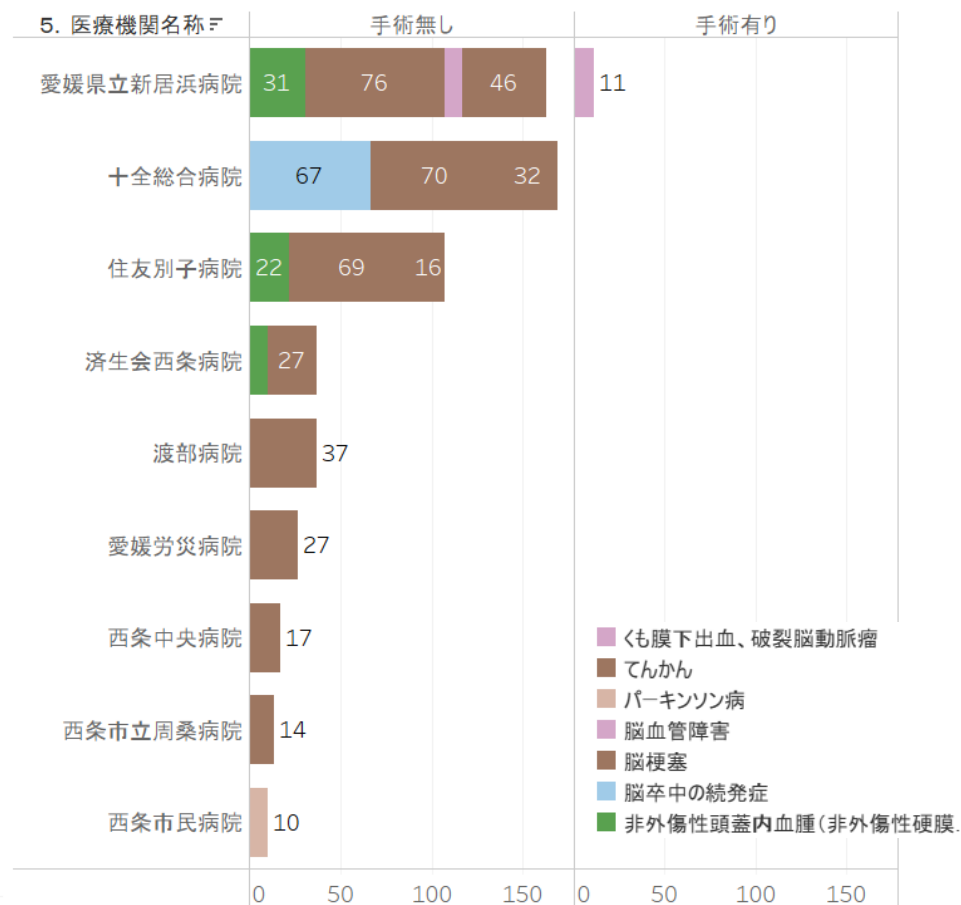


図 2 : MDC別手術有無別件数（病名別）



- くも膜下出血、破裂脳動脈瘤
- てんかん
- パーキンソン病
- 脳血管障害
- 脳梗塞
- 脳卒中の続発症
- 非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜)

5疾病における症例・手術・患者数等の状況

脳卒中 推計患者数・推計手術数の推移

脳卒中における需要予測では、入院需要のピーク、手術需要のピークは2030年となる見通し。

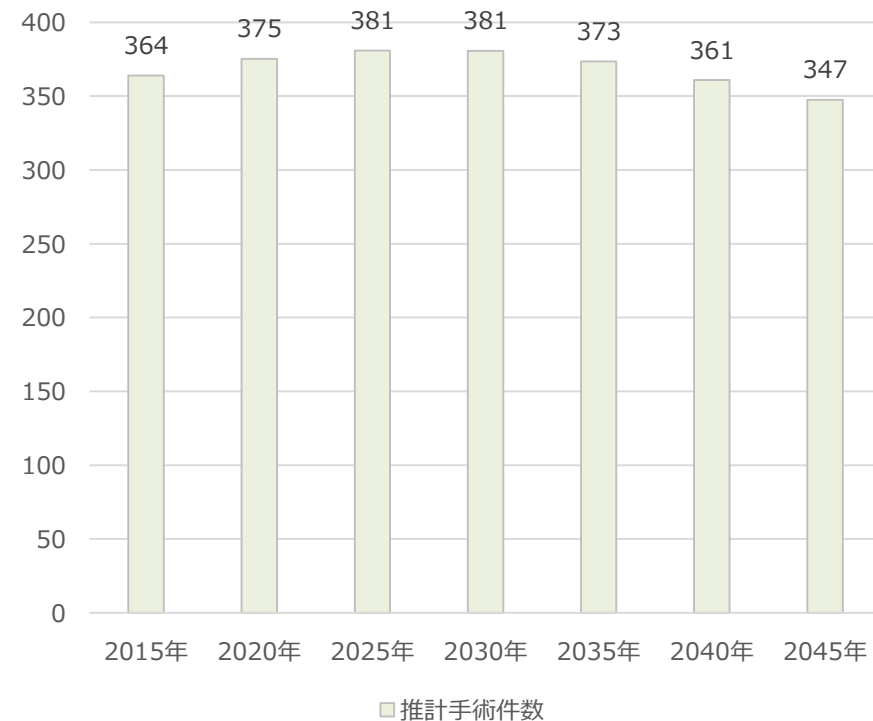
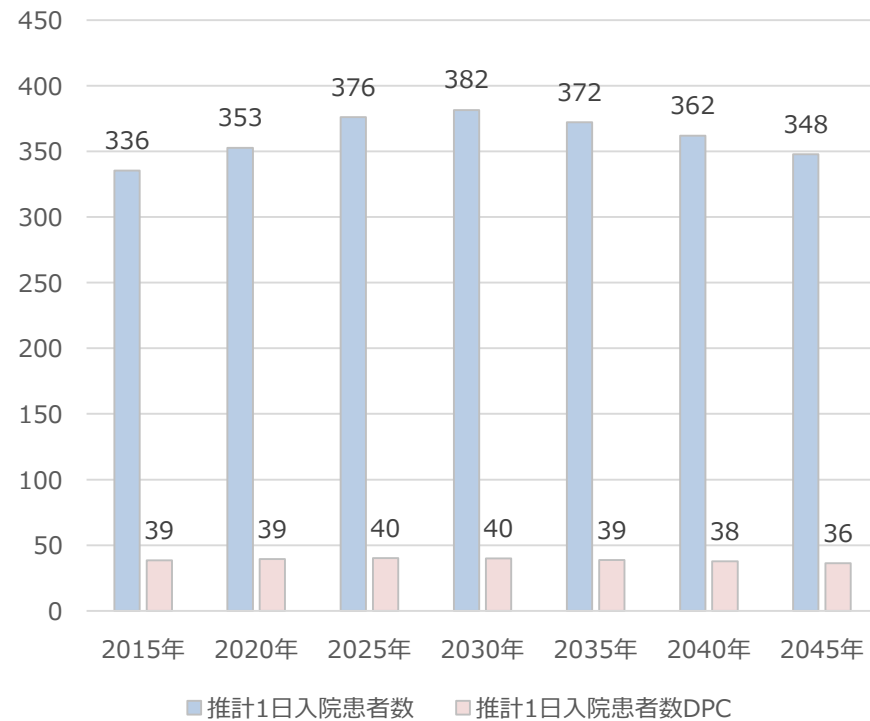
- 推計1日入院患者数のピークは2030年となり、2015年に対して46人が増加する見通し（図1）。
- 推計1日入院患者数（DPC請求病床）の需要はほぼ変わらず推移する見込み（図1）。
- 推計手術数のピークは2030年となり、2015年に対して17件が増加する見通し（図2）。

図1：推計1日平均入院患者数の推移

図2：推計手術数の推移

(人/日)

(件/年)



(備考)

推計1日患者数は傷病分類「脳梗塞」「その他脳血管疾患」の愛媛県受療率より推計
推計1日入院患者数DPCは傷病名に「脳」を含むものに絞り1日患者数を推計。患者数推計は、DPC退院患者調査より全国のDPC請求病床への入院症例発生率を年齢階級別に求め、当発生率を当該地域の推計人口、DPC別平均入院日数をかけた後に365日で除して求めた。

(備考)

「神経系・頭蓋」の手術数を推計
手術の発生率は性別・年齢5歳階級別の全国の発生率を計算し、当該地域の推計人口に掛け合わせることで算出した。

5疾病における症例・手術・患者数等の状況

循環器系疾患 MDC別・手術有無別・医療機関別の症例数

- MDC05（循環器系）では住友別子病院が最多となるが、複数病院に手術症例が分散している。
- 次頁の需要予測では、急性期需要はほぼ一定水準を保ち、回復期等（入院需要と急性期入院需要との差）は大きく増加することが予想され、将来の需要に対応するためのあり方についての検討が必要である。

図 1：MDC別手術有無別件数

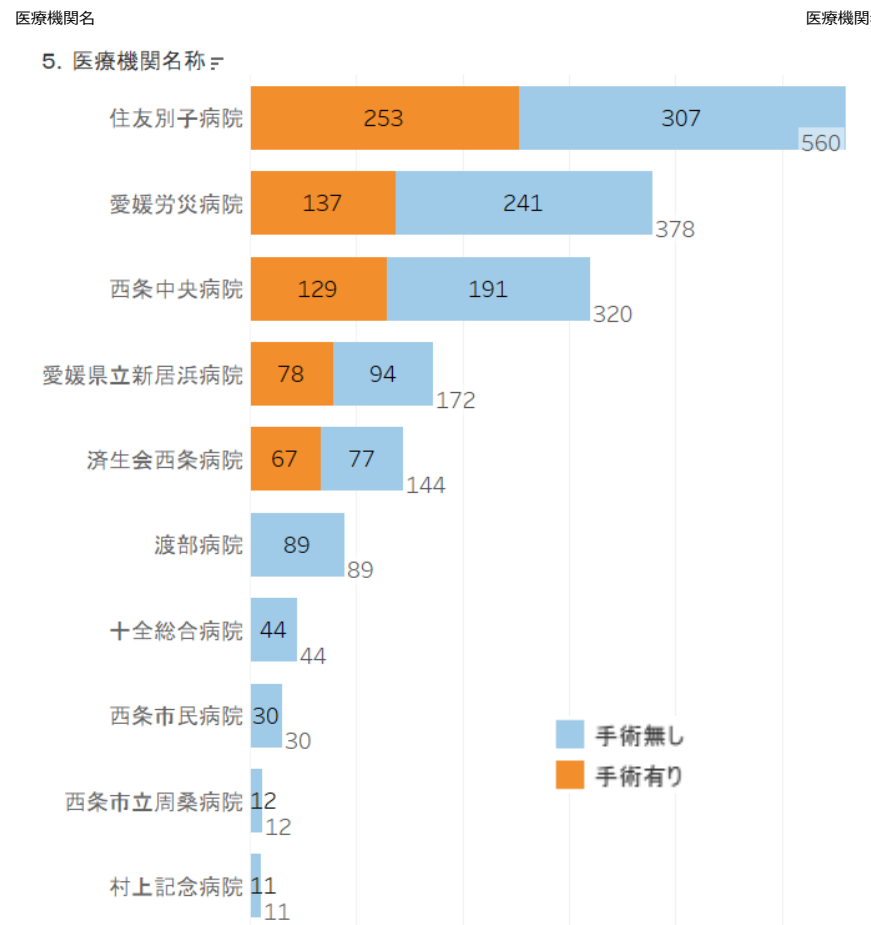
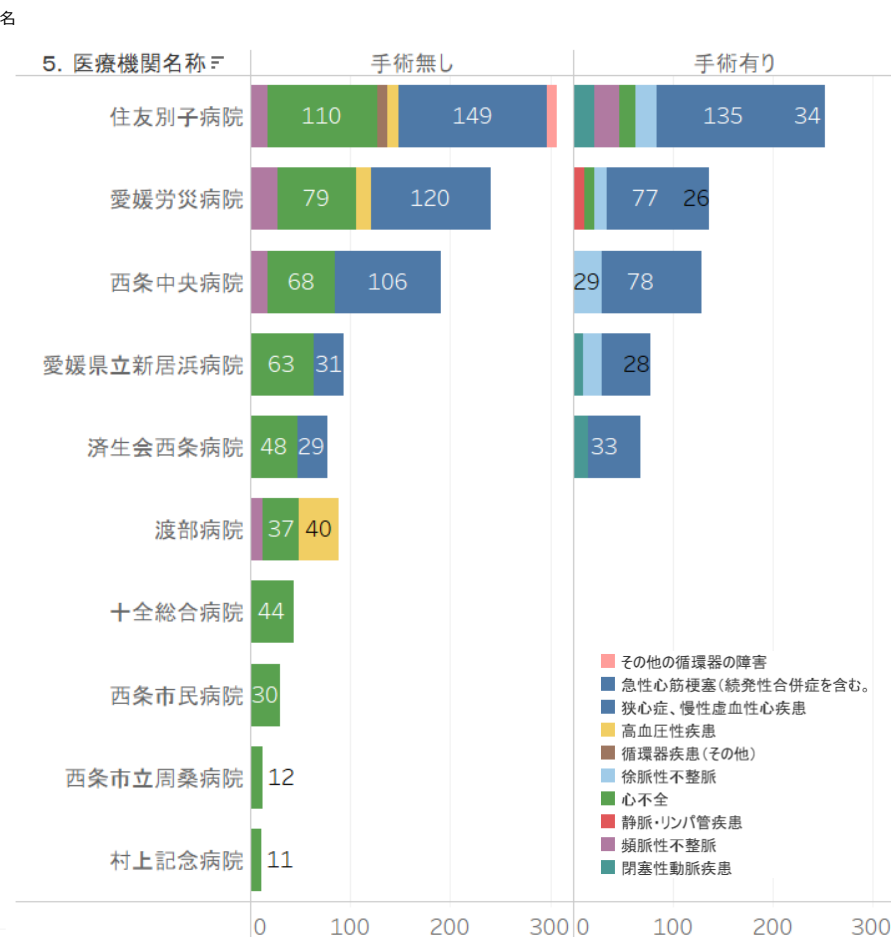


図 2：MDC別手術有無別件数（病名別）



5疾病における症例・手術・患者数等の状況

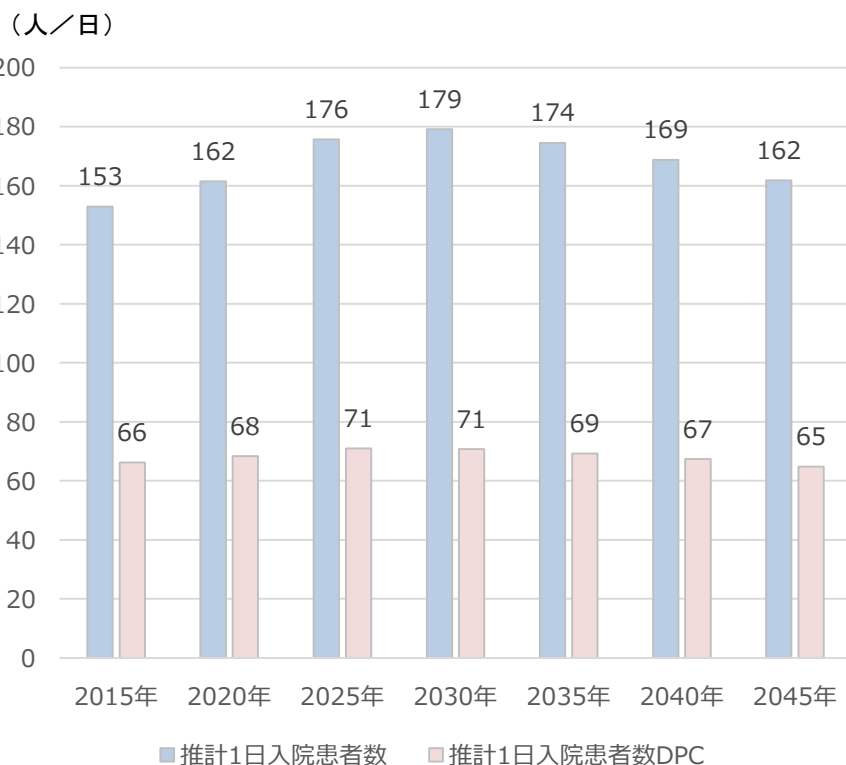
心血管疾患 推計患者数・推計手術数の推移

心血管疾患における需要予測では、入院需要のピークは2030年、手術需要のピークは2025年となる見通し。

- 推計1日入院患者数のピークは2030年となり、2015年に対して26人が増加する見通し（図1）。
- 推計1日入院患者数（DPC請求病床）の需要はほぼ変わらず推移する見込み（図1）。
- 推計手術数のピークは2025年となり、2015年に対して87件が増加する見通し（図2）。

図1：推計1日平均入院患者数の推移

図2：推計手術数の推移



(備考)

推計1日患者数は傷病分類「虚血系心疾患」「その他心疾患」の愛媛県受療率より推計
 推計1日入院患者数DPCはMDC05循環器疾患の1日患者数を推計。患者数推計は、DPC退院
 患者調査より全国のDPC請求病床への入院症例発生率を年齢階級別に求め、当発生率を当該
 地域の推計人口、DPC別平均入院日数をかけた後に365日で除して求めた。

(備考)

「心・脈管」の手術数を推計
 手術の発生率は性別・年齢5歳階級別の全国の発生率を計算し、当該地域の推計人口に掛け
 合わせることで算出した。

5疾病における症例・手術・患者数等の状況

糖尿病 MDC別・手術有無別・医療機関別の症例数

(対応している医療機関が少ないため、2019年度データにより新居浜・西条圏域と隣接する宇摩圏域を合わせて表示)

- 新居浜西条圏域内では、DPC傷病名に糖尿病を含む傷病の症例数は住友別子病院が最多となり、隣接する宇摩圏域を含めても、手術実績が確認出来る医療機関は住友別子病院のみである。
- なお、2020年度の退院患者報告ではDPC傷病名に糖尿病を含む傷病へ対応した症例数が確認出来た医療機関は住友別子病院のみであった。

図1：MDC別手術有無別件数

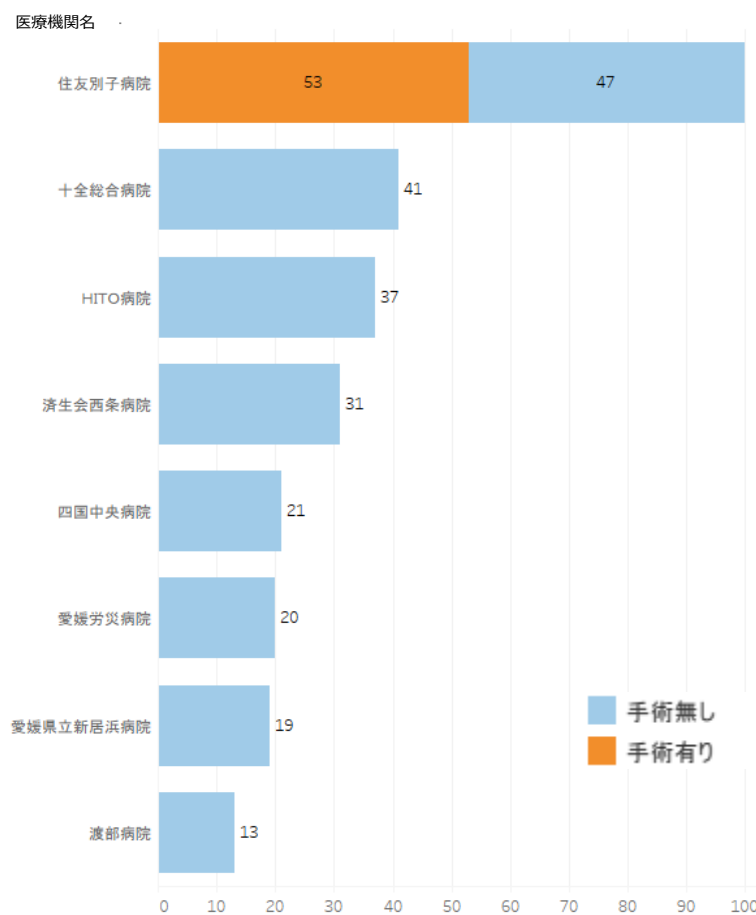
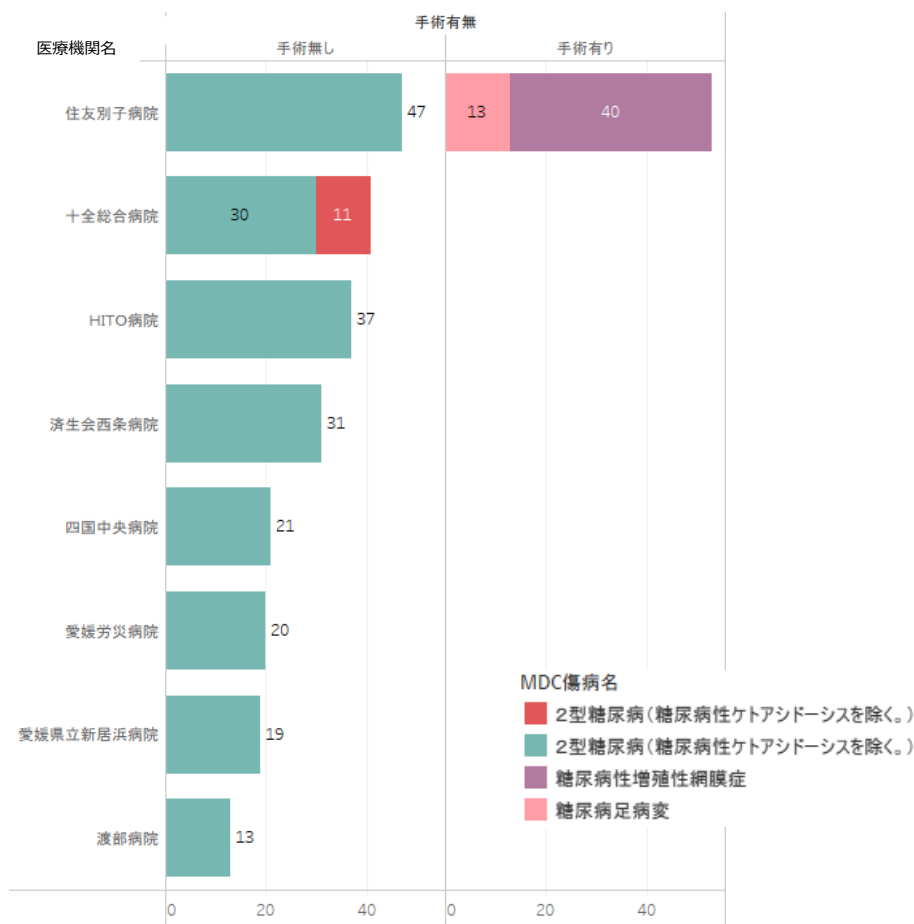


図2：MDC別手術有無別件数（病名別）



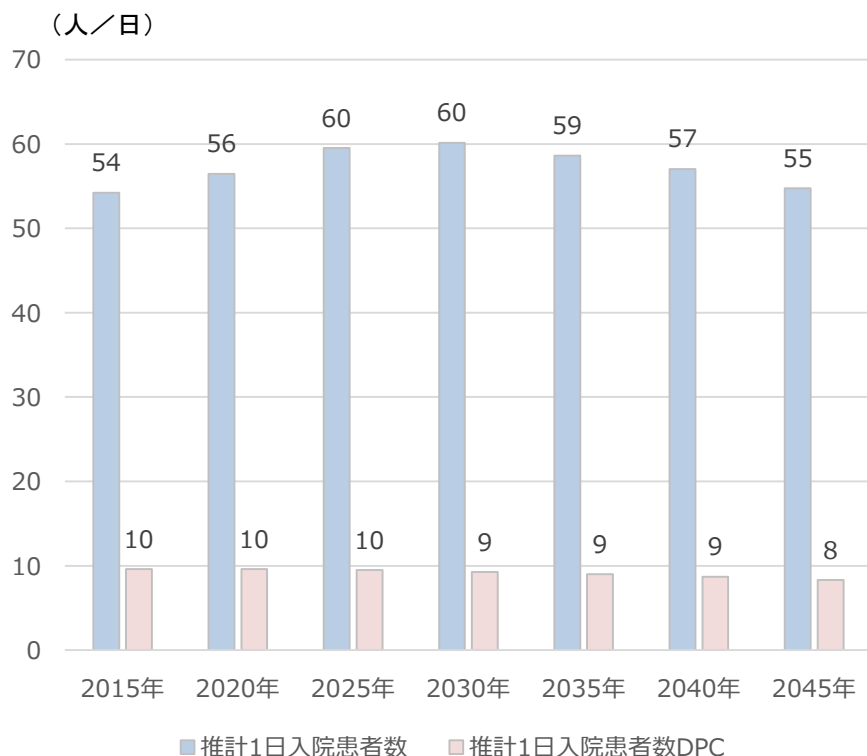
5疾病における症例・手術・患者数等の状況

糖尿病 推計患者数

糖尿病における需要予測では、入院需要のピークは2030年、外来需要のピークは2025年となる見通し。

- 推計1日入院患者数のピークは総需要およびDPC請求病床入院の需要ともに大きな変化はない見込み（図1）。
- 1日平均外来患者数のピークは2020年となり、その後は減少へと転じるが一定の患者数が生じ続ける（図2）。

図1：推計1日平均入院患者数の推移



(備考)

推計1日患者数は傷病分類「糖尿病」の愛媛県受療率より推計
推計1日入院患者数DPCは傷病名に「糖尿病」を含むものに絞り1日患者数を推計。患者数推計は、DPC退院患者調査より全国のDPC請求病床への入院症例発生率を年齢階級別に求め、当発生率を当該地域の推計人口、DPC別平均入院日数をかけた後に365日で除して求めた。

図2：推計1日平均外来患者数の推移



(備考)

推計1日患者数は傷病分類「糖尿病」の愛媛県受療率より推計

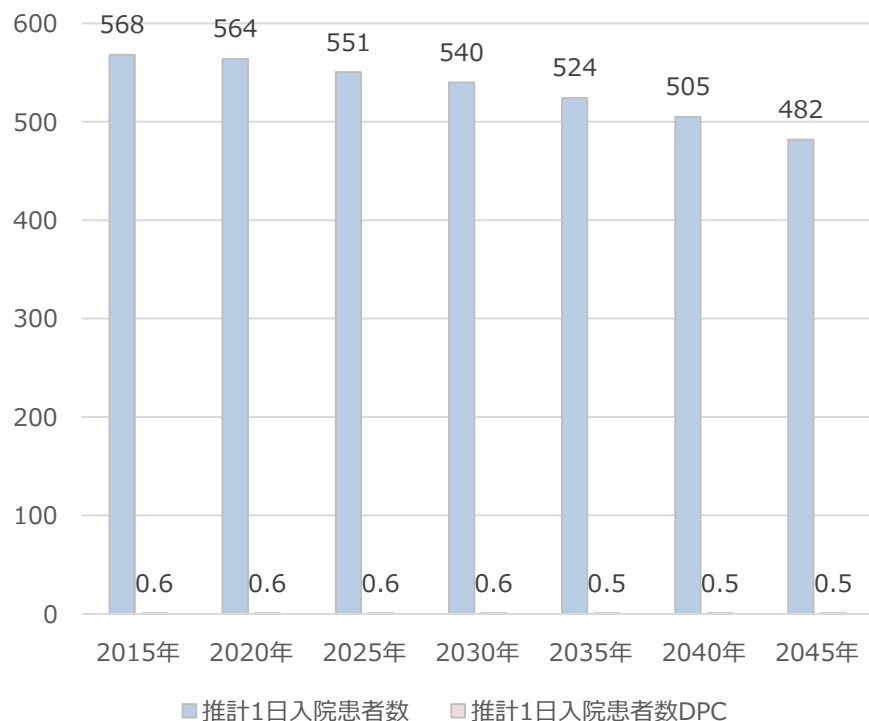
5疾病における症例・手術・患者数等の状況

精神疾患 推計患者数

- 精神疾患における需要予測では、入院医療のピークと外来需要のピークは2015年となる見通しであり、緩やかに減少する過程にある。

図1：推計1日平均入院患者数の推移

(人/日)

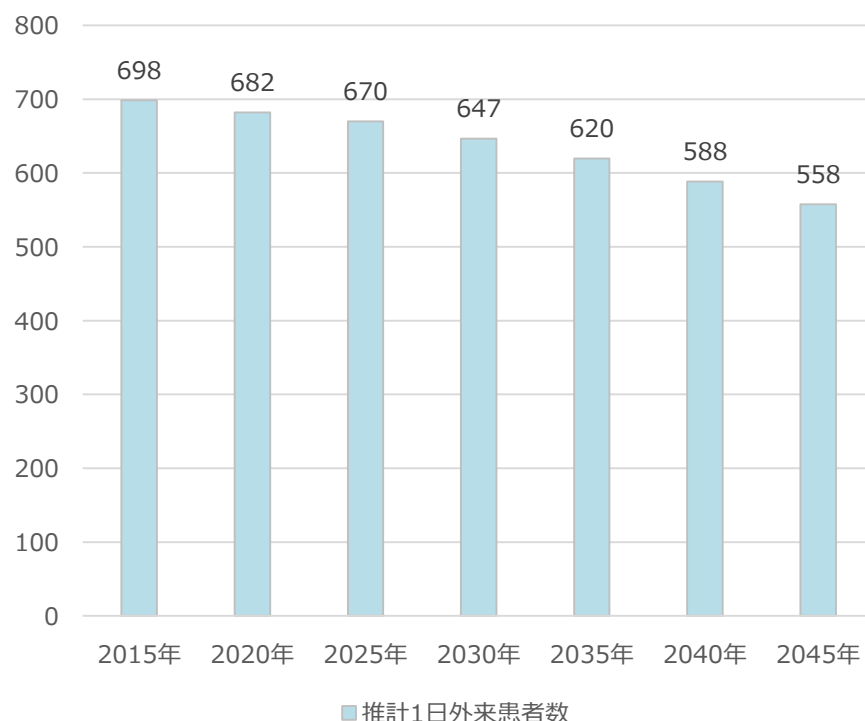


(備考)

推計1日患者数はICD分類「V.精神行動の障害」の愛媛県受療率より推計
推計1日入院患者数DPCはMDC17精神疾患の1日患者数を推計。患者数推計は、DPC退院患者調査より全国のDPC請求病床への入院症例発生率を年齢階級別に求め、当発生率を当該地域の推計人口、DPC別平均入院日数をかけた後に365日で除して求めた。

図2：推計1日平均外来患者数の推移

(人/日)



(備考)

推計1日患者数はICD分類「V.精神行動の障害」の愛媛県受療率より推計

6事業等への対応状況

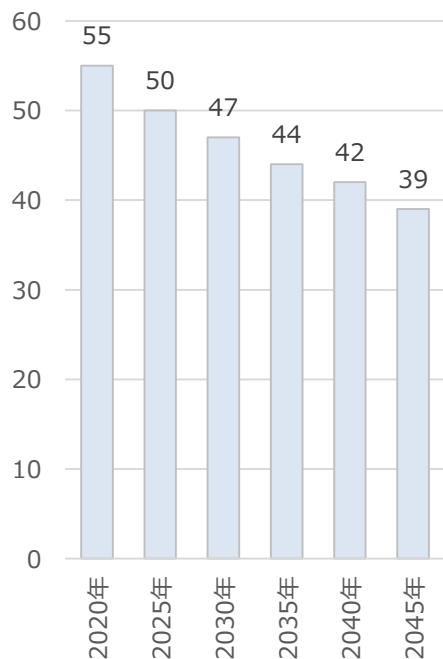
小児・周産期医療の需要予測

(小児・周産期における将来需要の推計)

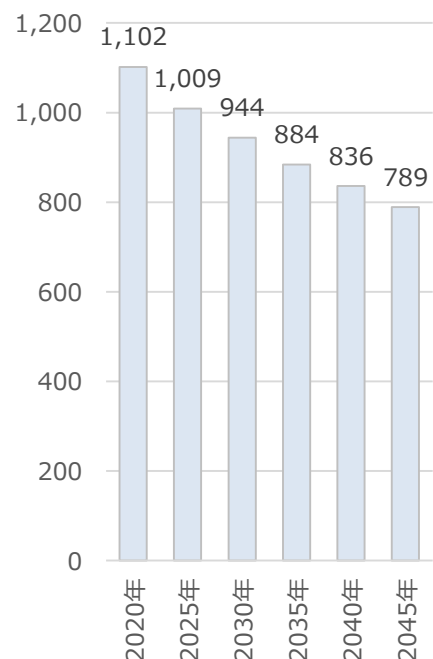
- 小児の医療需要は、今後、年少人口が減少することから、2020年から2045年にかけて1日当たり入院患者数、外来患者数ともに減少する見込みである（図1）。
- 周産期の医療需要は、母親世代人口の減少に伴い、出生数（周産期需要）も減少する見込み（図2）。
- 小児・周産期医療は地域において必要な機能であり、今後のあり方についての検討が必要。

図1: 将来推計需要(15歳未満患者)

■入院需要推計(人/日)



■外来需要推計(人/日)

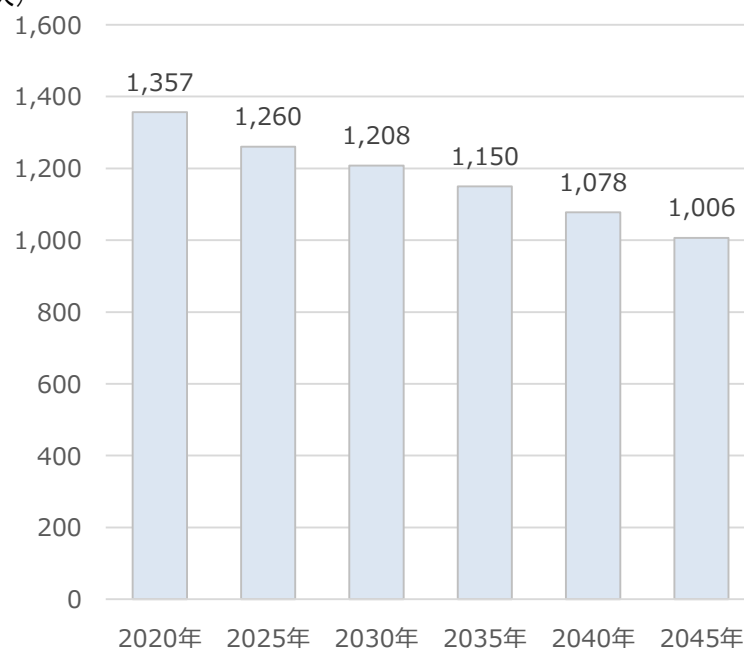


(備考)

推計1日患者数は各ICD分類の愛媛県受療率を当該地域の15歳未満の推計患者数に掛け合わせて推計した。

図2: 将来推計需要(出生数)

■出生数(0歳児人口)の推計(人)



(備考)

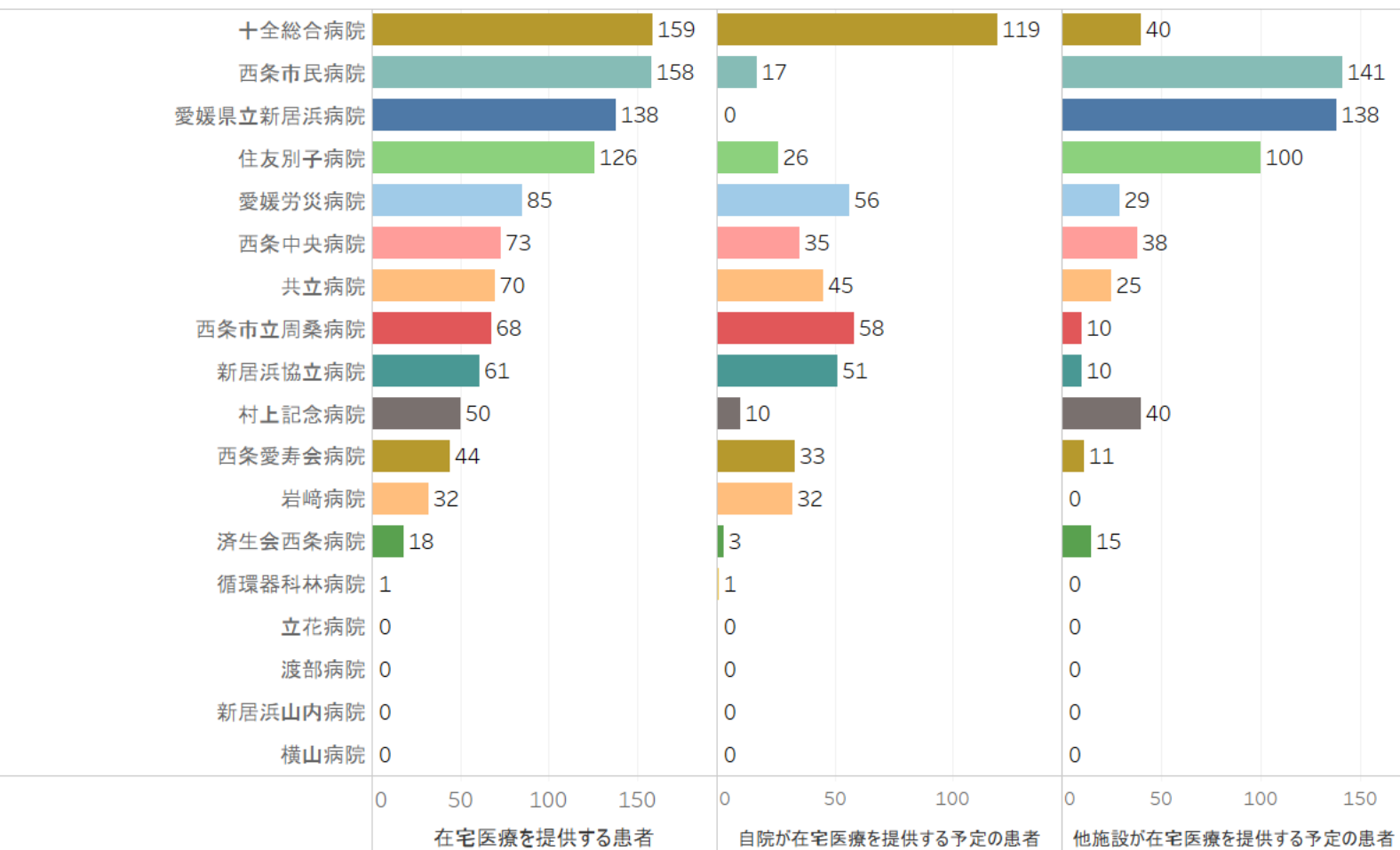
人口動態統計2015年「母の年齢(5歳階級)・出生順位別にみた出生数」および国勢調査2015年から、年齢別女性人口に対する出生数の割合を算出し、当該地域の年齢別女性人口推計に掛け合わせた。

6事業等への対応状況

在宅医療への対応

- 退院後の在宅医療の提供予定がある患者については、十全総合病院の数が最多となる。なお、他施設による在宅医療を提供する患者数では西条市民病院の数が最多となり、次いで県立新居浜病院や住友別子病院が続き、地域連携が図られていることがうかがえる。
- 今後の医療需要に適応するために在宅医療の強化について地域をあげての取り組みが必要になる。

病院別在宅医療の提供状況



1. 都道府県
38. 愛媛県

2. 医療圏
新居浜・西条

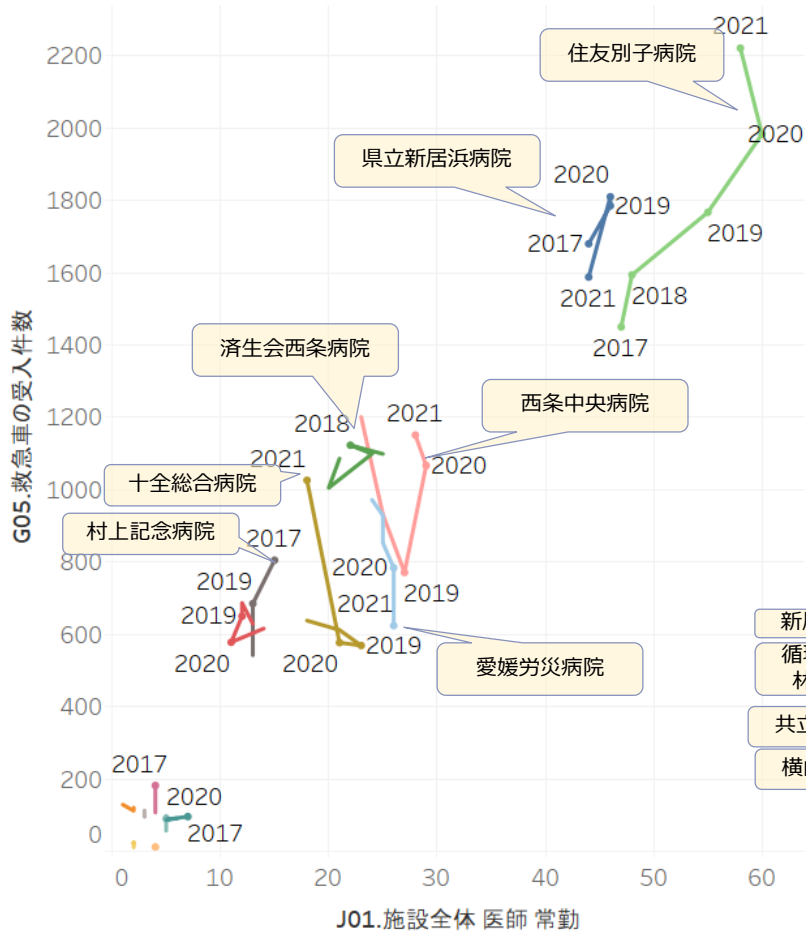
5. 医療機関名称

- 十全総合病院
- 西条市民病院
- 愛媛県立新居浜病院
- 住友別子病院
- 愛媛労災病院
- 西条中央病院
- 共立病院
- 西条市立周桑病院
- 新居浜協立病院
- 村上記念病院
- 西条愛寿会病院
- 岩崎病院
- 済生会西条病院
- 循環器科林病院
- 立花病院
- 渡部病院
- 新居浜山内病院
- 横山病院

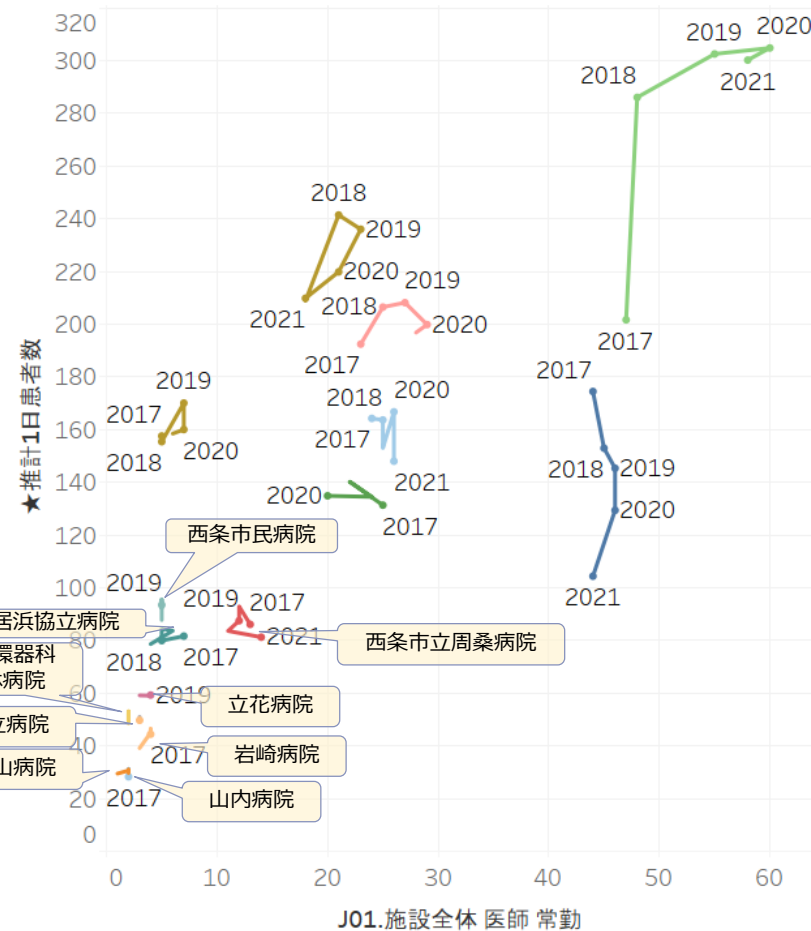
医師の確保状況 | 常勤医師数と救急搬送・推計1日患者数の年次推移

- 住友別子病院では、医師数が確保され救急搬送受入数や1日患者数が増加している傾向がうかがえる。
- 近年新型コロナ流行の影響はあるが、医師の確保と患者への対応数の双方の増加に明確なトレンドを確認出来たのは住友別子病院のみであった。

常勤医師数と搬送受入数の推移



常勤医師数と1日推計患者数



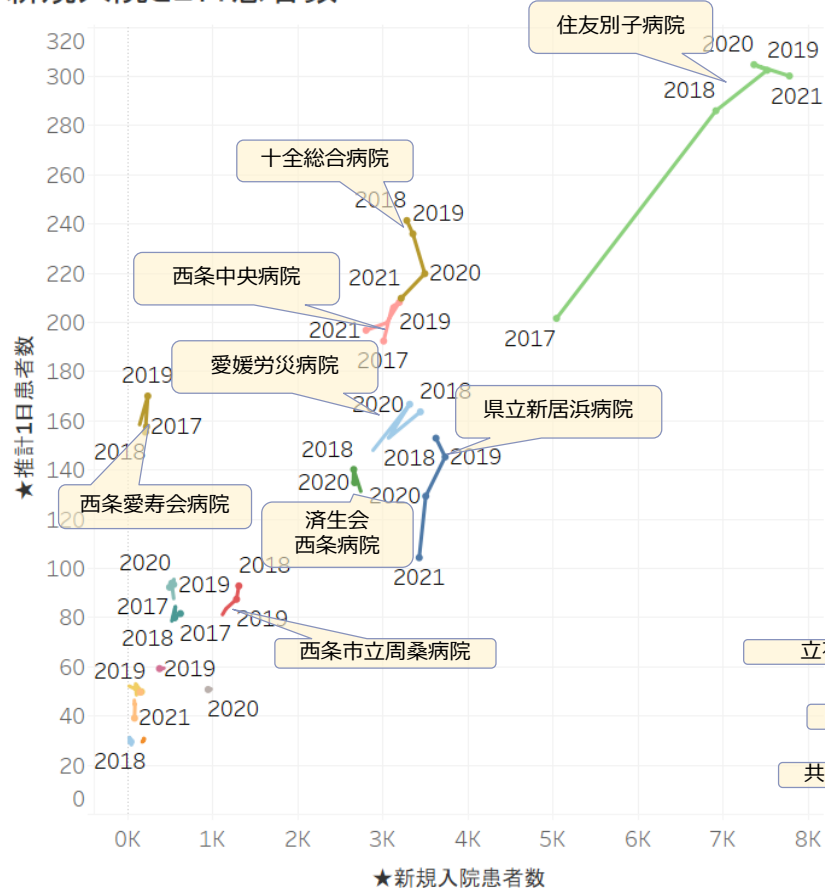
- 都道府県
 - 38.愛媛県
- 医療圏
 - (すべて)
 - 宇摩
 - 宇和島
 - 今治
 - 松山
 - 新居浜・西条
 - 八幡浜・大洲
- 医療機関名称
 - 愛媛県立新居浜病院
 - 愛媛労災病院
 - 横山病院
 - 岩崎病院
 - 共立病院
 - 済生会西条病院
 - 住友別子病院
 - 十全総合病院
 - 循環器科林病院
 - 新居浜協立病院
 - 新居浜山内病院
 - 西条愛寿会病院
 - 西条市民病院
 - 西条市立周桑病院
 - 西条中央病院
 - 渡部病院
 - 立花病院

各年度病床機能報告結果より作成
 ※救急搬送、医師数等のいずれかの報告数値が0、または推計1日患者数が10未満として異常値の可能性のある年度は表中非表示としている。

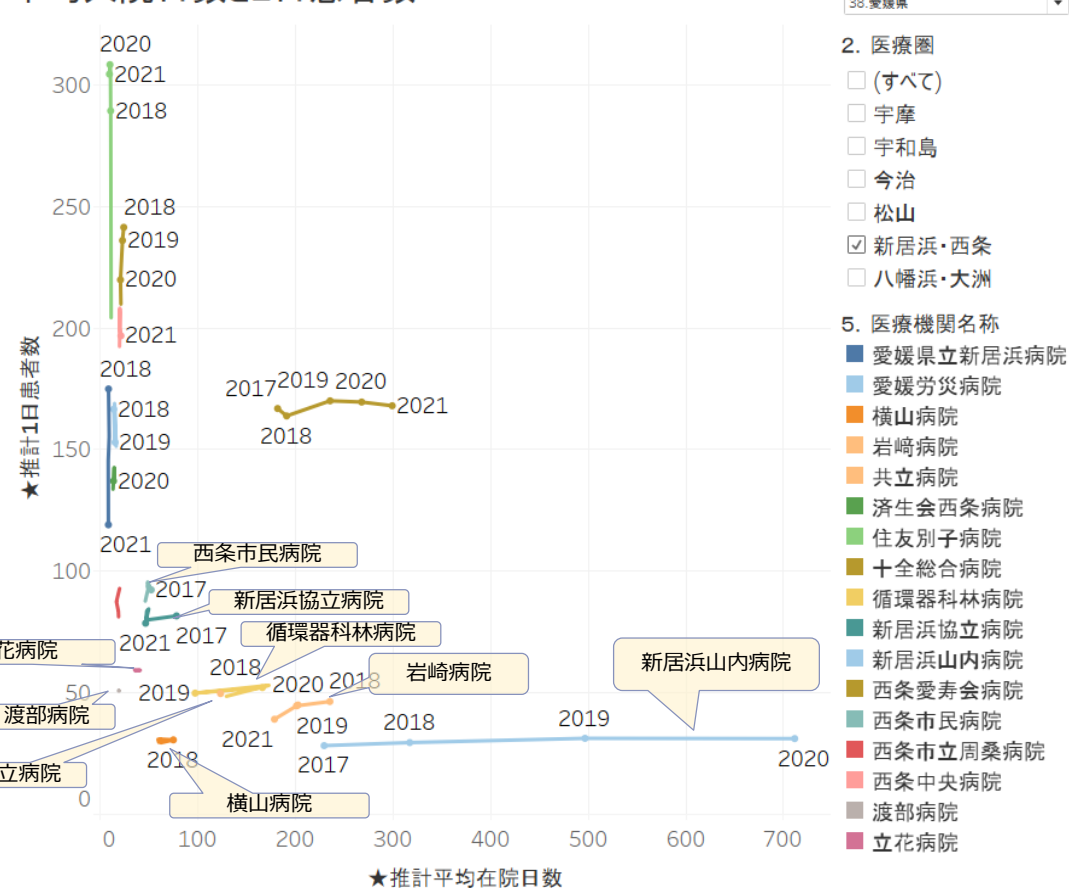
推計1日患者数と新規入院患者数・平均在院日数

- 1日患者数の増減について、新規入院患者数および平均在院日数の増減との関係性を下図に表している。
- 住友別子病院は新規入院患者数の増加により1日患者数が増加している。
- 他の医療機関は、2020年度以降は新型コロナの影響と思われるが、新規入院患者数減少による1日患者数の減少傾向がある。
- また平均在院日数と1日患者数の推移では、1日患者数は一定でありながら、平均在院日数が長期化している医療機関が複数ある。

新規入院と1日患者数



平均入院日数と1日患者数



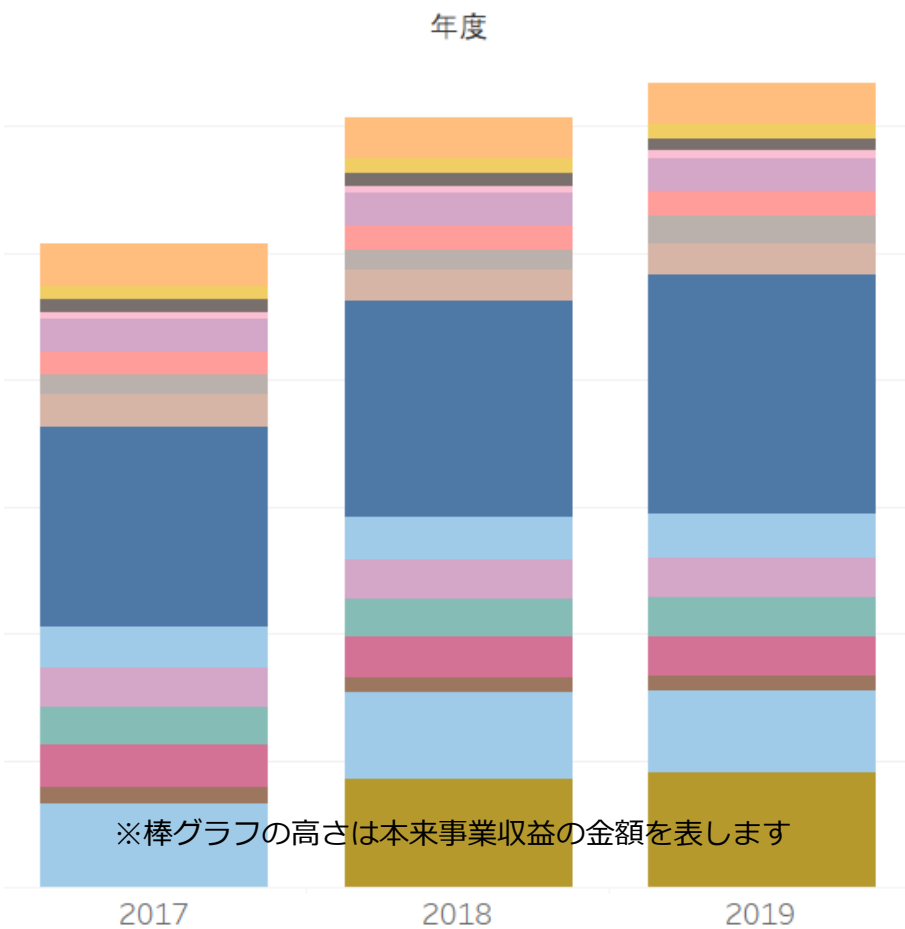
- 都道府県
 - 38.愛媛県
- 医療圏
 - (すべて)
 - 宇摩
 - 宇和島
 - 今治
 - 松山
 - 新居浜・西条
 - 八幡浜・大洲
- 医療機関名称
 - 愛媛県立新居浜病院
 - 愛媛労災病院
 - 横山病院
 - 岩崎病院
 - 共立病院
 - 済生会西条病院
 - 住友別子病院
 - 十全総合病院
 - 循環器科林病院
 - 新居浜協立病院
 - 新居浜山内病院
 - 西条愛寿会病院
 - 西条市民病院
 - 西条市立周桑病院
 - 西条中央病院
 - 渡部病院
 - 立花病院

各年度病床機能報告結果より作成
 ※救急搬送、医師数等のいずれかの報告数値が0、または推計1日患者数が10未満として異常値の可能性のある年度は表中非表示としている。

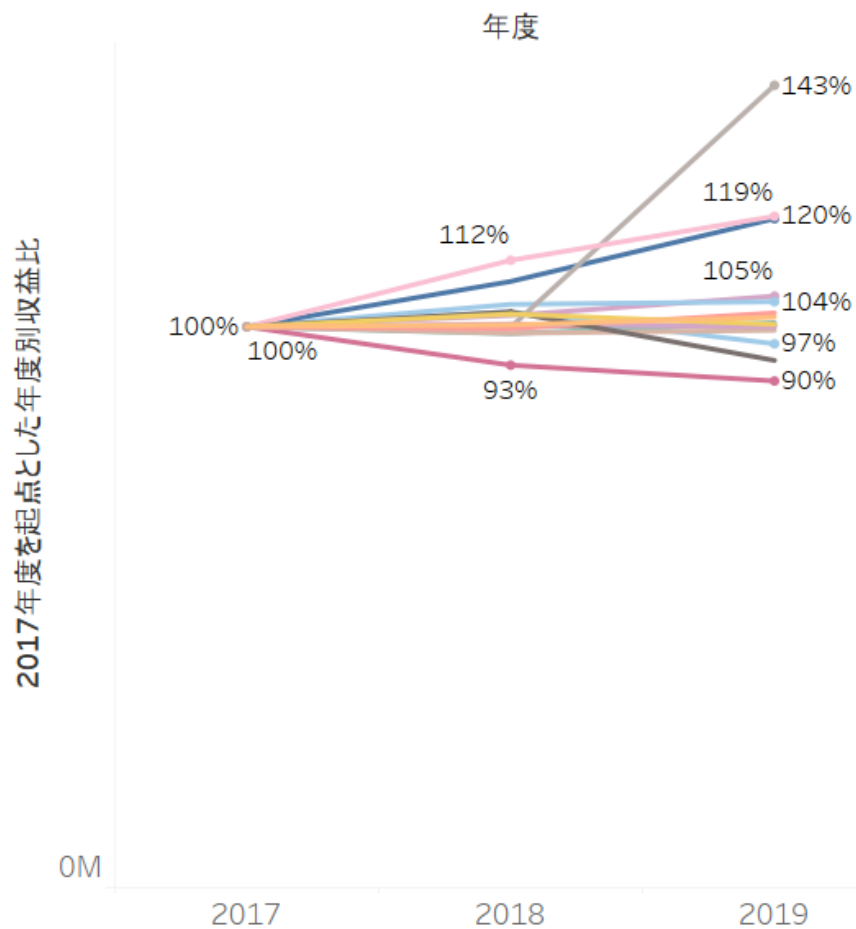
民間法人の本来事業収益の推移

- 下図は民間医療法人の本来事業収益の推移を表している。
- 地域の需要はピークを迎える前であるが、医療法人によっては収益が低下傾向にある法人が確認出来る。
- 地域の役割や政策への適合性、人員の確保状況等を考慮のうえ、将来的な体制維持の可否について確認を要する。

医療圏別集計



病院別推移



5. 当該医療圏の病院一覧（2021.7.1時点）

※精神病床のみの医療機関は含まない

医療機関名称	許可 病床数	医療機能別病床数					人員配置（常勤換算数）			救急搬送受入数
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床中	医師	看護師	その他医療職	
1 住友別子病院	360	6	314	40			59	349	181	2,221
2 十全総合病院	350		213	77	60		25	191	98	1,026
3 愛媛県立新居浜病院	290	30	260				53	223	96	1,588
4 西条中央病院	240		94	53	93		32	191	136	1,151
5 村上記念病院	199		99	46	54		18	103	116	555
6 愛媛労災病院	199	4	157	38			30	170	69	624
7 西条市立周桑病院	185		60	60		65	16	70	44	616
8 西条愛寿会病院	180				180		8	47	56	0
9 済生会西条病院	150	4	122	24			23	148	93	1,086
10 西条市民病院	101		25	50	26		5	58	78	57
11 新居浜協立病院	99		46		53		7	58	11	0
12 循環器科林病院	76			28	48		3	22	21	0
13 立花病院	60		20		40		5	26	24	0
14 渡部病院	52		52				6	42	10	0
15 共立病院	51				51		5	29	4	0
16 岩崎病院	50				50		3	22	18	0
17 横山病院	36				36		3	13	19	0
18 新居浜山内病院	32				32		2	18	8	0